

Kansai University Alumni Association News

関大

第590号

平成27年(2015年)11月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

「関西大学フェスティバルin九州」盛大に開催
イベントに市民ら1200人 交流会に420人が参加
平成27年度校友総会に700人集う
竹内洋名誉教授・東京センター長が記念講演

春学期卒業式・学位記授与式、秋学期入学式挙行
射撃部が秋季全関西大会で男女団体総合優勝
海外支部だより—各地で活発な活動を展開
サンパウロ千里会、ニューヨーク関大会が誕生



「関西大学フェスティバルin九州」のオープニングでは応援団演舞で博多市民に「関大」をアピール

おめでとうございます—秋の叙勲・褒章

政府は、11月3日付で平成27年度秋の叙勲受章者を、2日付で褒章受章者を発表しました。それに先立ち10月10日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をこ存じの方は校友会事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

旭日中綬章

富田健治（とみた・けんじ）昭45 M法）74歳。元大阪府議会議員。大阪市。

瑞宝中綬章

齋藤富雄（さいとう・とみお）昭44学2法）70歳。元兵庫県副知事。神戸市。

中島 巖（なかじま・いわお）79歳。名誉教授・元文学部教授。茨木市。

野村康雄（のむら・やすお）78歳。名誉教授・元工学部教授。西宮市。

旭日小綬章

生友正章（いくとも・まさあき）昭43学法）71歳。元三木市議会議員。三木市。

河野昌弘（こうの・まさひろ）昭43学2法）70歳。元西宮市長。西宮市。

瑞宝小綬章

井上 宏（いのうえ・ひろし）79歳。名誉教授・元社会学部教授。名張市。

岩井幹郎（いわい・もとお）昭30学法）82歳。元大阪府収用委員会事務局長。寝屋川市。

木津嘉津巳（きづ・かつみ）昭41学2法）72歳。元大津区検副検事。大津市。

佐野裕郎（さの・やすお）昭47 M商）71歳。元公立高校校長。大津市。

中島嘉昭（なかじま・よしあき）昭42学法）71歳。元大阪簡裁判事。奈良県北葛城郡上牧町。

旭日双光章

瀧川紀征（たきがわ・みちゆき）昭39学2文）77歳。吹田商工会議所副会頭。吹田市。

瑞宝双光章

齋藤 宏（さいとう・ひろし）昭42学2法）71歳。元近畿経産局資源エネルギー部電源開発調整官。枚方市。

永井駿一郎（ながい・しゅんいちろう）昭40学商）73歳。保護司。神戸市。

羽山幸雄（はやま・ゆきお）昭27学法）86歳。元公立養護学校長。枚方市。

藤原 晃（ふじはら・あきら）昭31学商）82歳。元大阪府労働部職業業務課長。河内長野市。

山中俊彦（やまなか・としひこ）昭31学法）82歳。元奈良市助役。奈良市。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

小川裕通（おがわ・ひろみち）昭41学法）71歳。元兵庫県警視。西宮市。

黒田眞吾（くろだ・しんご）昭43学法）71歳。元警視正。奈良市。

笹倉正治（さくら・まさはる）昭42学法）71歳。元警視正。明石市。

宮口育伯（みやぐち・やすのり）昭43学法）71歳。元大阪府警視。堺市。

山下寿一（やました・としかず）昭40学経）72歳。元警視正。奈良県北葛城郡河合町。

瑞宝単光章

入江史郎（いりえ・しろう）昭44学2文）71歳。元大阪府警部。泉佐野市。

小谷重行（こたに・しげゆき）昭43学2法）71歳。元大阪府警部。池田市。

新田 章（につた・あきら）昭41学法）71歳。元兵庫県警部。神戸市。

山口裕司（やまぐち・ひろし）昭42学法）71歳。元兵庫県警部。高砂市。

褒章

藍綬褒章

岩本英二（いわもと・えいじ）昭38学経）74歳。保護司。大阪市。

尾崎光年（おさき・みつとし）昭39学法）75歳。保護司。京都府乙訓郡大山崎町。

亀井喜久雄（かめい・きくお）昭52学工）60歳。三重県石油商業組合理事長。名張市。

杉本國雄（すぎもと・くにお）昭39学2商）73歳。保護司。守口市。

玉谷安啓（たまたに・やすひろ）昭43 M法）75歳。民生・児童委員。大阪市。

直林法廣（なおばやし・のりひろ）昭47学商）65歳。保護司。芦屋市。

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
NIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生生活協同組合 Tel:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております



創立130周年記念事業関係

- 2 「関西大学フェスティバルin九州」盛大に開催
多彩なイベントに市民ら1200人が参集
交流会には420人が結集し「学縁」と「絆」深める

本部活動

- 6 平成27年度校友総会に700人集う
個人功労表彰の39人らに感謝状を贈呈
竹内洋名誉教授・東京センター長が記念講演
- 11 「第五回関大寄席」に留学生を招待
校友落語家の熱演に場内は終始笑いの渦

大学・学生関係

- 12 春学期卒業式と学位記授与式を挙行
秋学期入学式では学部と大学院に25人
留学生別科も入学式 8カ国・地域から65人
KUBIC2015本選会 10年目を迎え最多の応募数
野球部100周年記念展 3月末まで簡文館で開催
関大北陽高校創立90周年記念式典を挙行
射撃部男女が秋季全関西で団体総合優勝飾る
- 18 海外支部だより
サンパウロ千里会とニューヨーク関大会が誕生
会と催し
- 26 北から南から <各地支部だより>
- 43 校友トピックス 新刊紹介 訃報



▲最後に各支部の世話人などが集まり記念撮影

■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



草の甲

最近、私が参画しているある経済団体で、メンバーの相当な若返りがあり、彼らのセミナーや講演会等に参加しても、我々年配経営者が十分に理解できない問題が多くあるようになった。もちろんこちらの勉強不足、情報不足のためと思うが、一番驚くのは、彼らが20代、30代の2代目ではなく、それぞれ個人創業者として出発していることである。▼会社は、10年も経たないうちに10億から40億の規模になり、社員も50人から100人となる経営者が次々と生まれている。事業は、アパレルからインテリア、商品開発、IT関係まで多岐にわたり、素晴らしい経営を実践している。また、彼らの多くは、全国的にマスコミに出ているわけでもなく、地元の中小企業の経営者である。▼若き経営者ではあるが、経営指針、求人活動、社内研修など基本的な実利のある多くのセミナーに、経営者、社員ともが参加し、自己資本充実も確認できた。素晴らしい将来の可能性を秘めた若き経営者の努力と意気込みを、特に実感しているこの頃である。▼話は変わるが、校友会WEBにも掲載されている今回の創立130周年記念事業「関西大学フェスティバルin九州」は、法人、教学、教育後援会、校友会が、初めて地方で、また初めてオール関大での開催となった。特に校友会の九州各支部の賛同もあり、参加者数は1200人。関係者だけの交流会にも420人以上が集い、大変有意義で素晴らしい会となった。▼当然、大学組織は法人・教学が主となり運営がされているが、今回の事業は校友会、教育後援会の力が発揮され、ますます存在意義が大きくなったと思われる。大学の全国的な危機感の中で、「オール関大」の力と纏まりを全国の皆さんに知っていただく良い機会ともなった。今後とも全国各地で続けて行きたいと願っている。



創立130周年記念事業

「関西大学フェスティバルin九州」盛大に開催

地域の市民や高校生、校友や在学生の父母に関西大学の魅力を発信し、併せてオール関大大人の更なる交流を目的とした創立130周年記念事業の1つ「関西大学フェスティバルin九州」が、9月27日（日）に福岡市中央区天神のエルガラホール（第1部イベント）とソラリア西鉄ホテル（第2部交流会）を会場に開催された。

この事業は、法人・教学、校友会、教育後援会、さらに校友会の九州各支部の賛同を得て、オール関大での創立130周年記念事業ブレイベントとして実施されたもので、当日は、天候にも恵まれ、エルガラホールのイベントには1200人が、ソラリア西鉄ホテルでの交流会には420人が集い、一日、関大の魅力を堪能した。

第1部イベントに市民ら1200人が集う 多彩な催しで『関西大学の魅力』を発信

ダン、ダン……、午前10時30分、エルガラホール横のパーサージュ広場に大きな太鼓の音が響き、舞台で応援団の演奏演奏が始まった。初めて地方で

開催した「関西大学フェスティバルin九州」の幕開けである。学歌斉唱から応援歌、関大マagma、チャリダー部演技、吹奏楽部演奏と次々と繰り広げられ、勇壮かつ華麗な演奏と演技に多くの道行く人たちが立ち止まって見入り、舞台前は通行もままならないほどになった。周辺では、福岡千里会の若手会員たちが「関西大学」と書かれた幟を手に、エルガラホールでの催しを紹介したチラシを配り、通りは「関西大学」一色に染まった。

11時にはエルガラホール7階全フロアを使っての各種催しが開始。入試相談コーナー、就職相談コーナー、体験コーナー、産学連携商品コーナー、関大グッズ販売コーナー、関西大学フィギュアスケーター展・高松塚古墳壁画パネル展、大学関連資料配付・キャンパス写真展と盛りだくさん。

入試相談コーナーには、開場と同時に親子連れで訪れて熱心に相談する受験生や配付された受験関連資料に目を通してながら順番待ちをする姿も見られるなど、関心の高さが見られた。高橋大輔、織田信成、宮原知子の衣装やオリンピック、世界選手権などで入賞した時のメダルを展示した「フィギュアスケーター展」と、昭和47年に世紀の大発見として日本中に考古学への口マンを沸き立たせた高松塚古墳の壁画を、発見当初の写真を基に原寸大で石室のように組み立てた「高松塚古墳壁画パネル展」の会場には、フィギュアスケートファンや考古学ファンと見られる多くの市民がためかけ、担当者の説明に熱心に聞き入っていた。



この伝統を、超える未来を。



き、それぞれお目当ての品を買い求めている。
正午、8階大ホールでのイベントが応援団の演舞演奏でスタート。山口千里会のフリーアナウンサー北川加寿美さんの司会



高橋先生は「私は東北の出身ですが、なぜか九州とは縁が深くて」と、調査で訪れた各地や知人の思い出をエピソードを交えながら紹介。聴衆を九州に引き付けてから、本題に入り、中国江南地方の河姆渡（かぼと）遺跡と佐賀県唐津市菜畑遺跡から発見された稲作遺構を、

で進行し、オープニングセレモニーでは、花田正利実行委員長が開会を宣言し、共催団体の池内啓三法人理事長、楠見晴重学長、寺内俊太郎校友会長、芋縄隆史教育後援会長が、オール関大が一つになって九州で開催する本事業の意義と成功への期待を表明した。
講演会は、名誉教授の高橋隆博先生が「中国江南地方と九州『稲作のきた道』」と題して講演。会場には、歴史ファンと思われる市民の姿も見られた。

「親が関大を好き」も受験の決め手の一つに

～入試相談コーナーから～

10時半、九州福岡の天神で、応援団の紫紺の旗が秋風に大きくたなびき「関西大学フェスティバルin九州」が始まった。

九州からも是非関西大学を受験していただきたいとエルガーホール7Fに「入試相談コーナー」が設けられた。

このコーナーでは、本学に関するいろいろな種類の資料がおかれていて、「入試説明会」が始まると受験生や保護者が熱心に聞き入っていた。

「相談コーナー」では、4人の担当者が受験生の相談を受け、入試や学部の内容、下宿の費用や場所等、丁寧に詳しく説明。男女の比率は半々くらい。

2人の男子受験生にお話を聞いた。

彼らは福岡在住で同じ予備校に通い、市制ニュースでこの企画を知り、詳しく話を聞きたくて参加したとのこと。

東京は遠いし費用もかかるので、関西の大学を目指すことにしたそうだ。

関関同立のホームページ等を見て検討し、関大がいいと思ったのと、親が関大を好きというのも決め手の一つになったそうだ（関大の校友ではないけど好きとのこと）。

2人仲良く、入試説明会のアンケート用紙に書き込んでいる後姿を見て、思わず「K・M君 H・I君 関大で待っていますよ！」



両遺跡から出土した高橋先生が専門の漆器の比較から紹介し、「稲作は江南地方から、黒潮とともに北部九州に伝播したと考えられる」と結論付けた。
応援団の2回目の演舞演奏が会場を盛り上げ、最後は校友の落語家3人による「関大寄席」。



（広報部 三木允子）



第2部交流会に 420人結集 「学縁」と「絆」を深める

エルガーホールでの第1部

桂米輝、林家染太、笑福亭風喬が、それぞれ「今日は名前のように頭が輝いています」「かなり前のことですが、地元福岡の大きな会場で落語会をしたら観客2人。右を向いて左をみたら1人いなかった。今日は大勢いて安心です」などと笑わせたあと、得意の落語を披露、会場は終始大きな笑いに包まれた。

イベントが終わったあと、午後5時から校友と在学生父母など関大関係者による第2部交流会がソラリア西鉄ホテルで開催され、420人が参加。イベントの成功を祝うとともに、関大人士としての「学縁」と「絆」を大いに深めあった。

第1部イベントに引き続きフリーアナウンサー北川加寿美さんの司会で進行。応援団第93代団長小山圭太君の指揮で学歌を斉唱のあと、壇上の大学関係者と実行委員会のメンバー（九州地区・沖縄の各支部長）紹介が行われ、出席者は拍手でその労をねぎらった。

挨拶で、花田実行委員長は、「地元九州地区のみならず、全国各地からお集まりいただき、お礼申し上げます。短い時間ですが、若き頃の友だちや授業を受けた先生などとも歓談し、懇親を深めていただきたい」と述べ、池内理事長は、「来年迎える創立130周年を盛り上げる催しとして企画し、朝から様々な事業を開催したが、多くの一般市民の方々にも参加いただい



た。九州博多の地でこれだけの行事を実行できた関大の力を改めて感じている。130周年記念事業としては6つの大きな事業を立ち上げさせていただいた。募金は目標の半分10億円を超えたところで、あと一押し二押しが必要である。高い席からではあるがご協力をお願いする」と挨拶した。

楠見学長は、「花田実行委員長はじめ実行委員の皆さんに感謝する。関西大学は総合私立大学として10指に入っているが、校友の社会での活躍が大きい。今年6927人の新入生を迎えたが、44・1%が女子学生である。商学部でも50%を超えるなど女子学生が増えている。リクルート社が毎年、高校3年生7



万人を対象に行っているアンケート調査では、関大は「志願したい大学」で、関西圏で8年連続トップである。その中で項目別の「おしゃれな」は、3年前はトップ10に入っていなかったが、昨年10位、今年は7位に順位を上げた。昨日の関西大学女子駅伝でも立命館を破って初優勝を飾った。仙台でも期待してほしい」と女子学生の活躍を紹介した。寺内校友会会長は、「この催しは、法人・教学、教育後援会、校友会が一堂に会して、このように盛大に開催された。130年の歴史を有する関西大学を一言で語るとすれば、学歌に歌われた『自然の秀麗、人の親和、長き歴史、重き使命、高

THINK  PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

 東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

この伝統を、超える未来を。

平成卒の勧誘に注力！ 34人出席の北九州支部

第1部の展示会場のキャンパス写真に見入り、なごやかに話し合う女性たち。様子からして卒業生か？と思ったとおり、北九州支部の皆さんだった。

今回は、九州各地の支部が結束して実行委員会を立ち上げ、牽引してきた初めての地方大会。北九州支部の皆さんも自ずと力が入っていて、「この後、懇親会にも出ます。ほかにたくさん参加しますよ」(この日は34人が出席)。博多まで電車で1時間ほどかかるが、皆さん気軽にやってくるとのこと。普段から福岡千里会との交流を密にしており、互いの支部総会には大勢が参加するようだ。

当支部の特長をたずねると、「女性会員がたくさんいます！」という返事。女性が集まる要因(魅力)は何だろう？

「やっぱり女子会かな」と話すのは幹事の一人、城野公美子さん。

女子部(青年女性部会)を活性化することで、会員を掘り起こし、定着率を上げている。同窓というだけでも親しみがわく中、花見や食事会、バーベキュー、ボウリング、利き酒の会などを開催し、楽しみつつ結束を固めてきた。職種や肩書きにこだわらないこと、親身になって悩みを聞いたり相談に乗る優しい先輩がいることなどが求心力になっているようだ。

女性だけでなく、平成卒の会員勧誘にも熱心で、本部からの新卒者名簿を活用し、幹事長の今井明美さんを中心とした幹事たちによる「電話攻勢」や「会いに行く」作戦を展開、結果を出している。

地方にUターンあるいは転勤した校友にとって、同窓の存在は頼もしく嬉しいもの。関大校友会の意義を改めて確信した。

写真は、左から小津和美和さん(平10文)、有富ひじりさん(平14工)、山元貴子さん(平3文)、城野公美子さん(昭58文)。(広報部 西野京子)



き權威』のたぐいなき学園である。また、『正義を権力より護れ。私は母校を卒業して50年、これらの言葉を噛み締めて生活してきた。本日お集まりの皆さんも同じ思いであると思う。この感動を若い校友たちにも伝えていきたい。そのために来年も

どこかの地で開催したい」と述べた。芋縄教育後援会長が、「これからも皆さんとともに強い関西大学を作っていくましよう」と乾杯の音頭をとり、開宴。満席の会場では、テーブルを離れて歓談する姿や名刺交換する姿があちこちで見られ、約2時間

にわたり学縁と絆を深めた。応援団の演舞演奏で宴も終盤になり、応援団第93代副団長深田晋平君のリードで全員が肩を組み道徳歌を合唱。白木成光福岡千里会長の閉会の辞、岡部薫幹事長の博多手一本で閉宴となった。

一般入試・センター利用入試の願書を校友の皆様^①に無料でお届けします！

2016年度 一般入試					2016年度 センター利用入試				
日程	試験日	学部	試験地	試験地	種別	個別学力検査実施日	学部	試験地	
学部個別日程	2/1(月)	文・経済・社会・政策創造・総合情報学部	①②③	①②③	センター前期	2/7(日)	商学部以外の学部	①②③④⑤	
	2/2(火)	システム理工・環境都市工・化学生命工学部							
	2/3(水)	経済・商・政策創造・外国語・人間健康学部							
	2/4(木)	法・文・商・総合情報・社会安全学部							
	2/5(金)	文・システム理工・環境都市工・化学生命工学部							
	2/6(土)	法・社会・外国語・人間健康・社会安全学部							
全学部日程	2/7(日)	全学部	①	センター中期	2/8(月)	全学部	—		
	2/8(月)	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全学部							
	3/3(木)	法・文・経済・商・社会・政策創造・外国語・人間健康・総合情報・社会安全学部							
	3/4(金)	総合情報・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工学部							

※郵送(志願票による)の出願の場合、締切日当日の消印有効となります。インターネット出願の締切時間は、データ登録期間と入学検定料納入期間で異なりますので、必ず入学試験要項をご確認ください。

全国29都市に試験地を設け ①大阪・東京・金沢・名古屋・和歌山・姫路・岡山・広島・高松・福岡 ②京都・神戸・松山 ③静岡 ④浜松 ⑤札幌・仙台・新潟・富山・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・高知・小倉・熊本・鹿児島

文芸部に加えて法学部・経済学部の全学部日程で同一配点方式を導入！
文学部に加えて法学部・経済学部では、全学部日程(2月7日・8日)において、3教科各150点満点、合計450点満点の3教科型【同一配点方式】を新たに導入します。

センター利用入試の科目が変更！
経済学部(センター前期)とシステム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部(センター後期)で採用する大学入試センター試験の科目が変更になります。

全国29都市で受験できる！
2016年度入試より学部個別日程(2/1～2/6)に静岡試験地を新設。全国29都市で受験でき、地元で安心して関西大学にチャレンジできます。

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項(願書)」をお届けいたします。
ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお役立てください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めをお願いいたします。また、本学へお越しいただいた方にも無料でお渡ししています。

はがき 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学 入試広報グループ 関大願書請求「校友」係 FAX 06-6368-0903

入学試験に関するお問い合わせ
関西大学 入試センター 入試広報グループ
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
Tel.06-6368-1121(大代表)
http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/

関西大学

BIGホール100に700人が集う

平成27年度校友総会を開催

平成27年度校友総会は、10月18日の日曜日、12時30分から千里山キャンパス・BIGホール100で開催され、絶好の秋晴れの中、京阪神はもとより全国各地から約700人の校友が出席した。

第1部総会では、寺内俊太郎会長が挨拶の後、来賓を代表して、池内啓三理事長と楠見晴重学長が母校の近況を述べた。会務報告に続き、恒例の記念品、感謝状贈呈が行われ、総会を終了。

第2部記念講演では、名誉教授で東京センター長の竹内洋先生の「私論 戦後70年」と題する講演を熱心に拝聴。その後、凜風館に会場を移して行われた懇親会では、参加者が一堂に会して歓談、応援団の演舞を楽しみ、秋の一日を母校で満喫した。

組織特別顕彰2団体

個人功労表彰39人などに感謝状

第1部総会は、草川大造総務副部長と太平信恵総務部員の司会で定刻に開会。渡邊泰之副会長が開会の言葉を述べ、小山圭太応援団第93代団長のリードで学歌を斉唱し、一軸浩幸元校友会会長はじめ昨年の総会以降亡くなられた校友・大学関係者の冥福を祈って黙祷を捧げた。

法人・教学及び教育後援会役員など来賓紹介のあと、校友会の給付奨学生で今年の司法試験に合格した4人が紹介され、会場からは大きな拍手が贈られた。

挨拶に立った寺内会長は、「今年の校友総会は、創立130周年の佳節を迎える前年の総会である。関西大学フェスティ

バルin九州では、法人・教学、教育後援会と我々校友会が一体となり「関西大学ここにあり」を示すことができた。地方での初めての企画であり、十分に関西大学を伝えきれない部分もあったかもしれないが来年、再来年とまた違った地域で開催して、充実させていきたいと思う」と前置きし、いつものようにパワーポイントを使って、「平成25年期会長基本方針」から「平成25年期校友会活動の指針」を説明。「2年半が経過したが、この基本方針、活動指針に基づき、来年に向けて活動を充実していきたい」と述べた。

続いて、完成予想図等を紹介しながら、千里山キャンパスへの新たな通学路やイノベーション創生センター、梅田キャンパスなど母校創立130周年記念事業の概要を紹介。「我々がどこまで協力できるか。金額や期間（29年3月）等もお考えいただいて、いろんな意味で母校の繁栄に協力できればと思う」と、校友の協力を要請した。

校友会の会務を分担して遂行している常議員の6部を総務部から順に担当副会長・部長と部員の氏名を紹介。さらに監事を紹介の後、「最近の母校、校友会の行事を短く紹介させていただく」と述べ、桂文枝氏の叙勲受章記念祝賀会や教育後援会総会、関西大学フェスティバルin九州での諸行事を映写した。また、大学のグローバル化等に対応して校友会が進めている海外支部の設立については、台湾O



校友総会での顕彰者（順不同・敬称略）

組織特別顕彰（2団体）

愛媛支部 柏原支部

組織顕彰（1団体）

静岡支部

個人功労表彰（39氏）

和田	美治（長崎支部副支部長＝昭40学経）
岩崎	博（大分千里会副会長＝昭44学法）
山下	司（高知支部副支部長＝昭48学経）
市村	雅彦（鳥取支部副支部長＝昭42学商）
江口	昌成（千葉支部副支部長＝昭39学工）
岡野	茂（石川県支部支部長＝昭46学工）
松井	信幸（南勢支部幹事長＝昭61学商）
金森	保明（滋賀支部副支部長＝昭44学経）
牧村	史朗（京都支部支部長＝昭32学法）
藤	俊弘（生駒支部支部長＝昭51学2法）
北尾	敏明（姫路支部会計＝昭46学社）
村上	将夫（西宮支部副支部長＝昭40学商）
岸本	文彦（川西支部会計＝昭39学法）
中尾	優司（芦屋支部副支部長＝昭53学社）
大角	教雄（尼崎支部支部長＝昭39学2経）
坂野	賢治（泉佐野支部副支部長＝昭49学法）
麻生川	章（貝塚支部顧問＝昭29学2法）
仲谷	一壽（交野支部幹事長＝昭41学2文）
上奥	雅勇（河内長野支部元支部長＝昭38学法）
大倉幾三郎	（吹田支部元副支部長＝昭39学経）
九村	利則（豊能支部副支部長＝昭43学法）
山崎	菊雄（寝屋川支部副支部長＝昭48学2法）
松葉	健一（東大阪支部支部長＝昭49学工）
藤井	稔夫（箕面支部支部長＝昭42学経）
松田	充弘（阿倍野支部前支部長＝昭41M工）
北原	正浩（天王寺支部支部長＝昭45学文）
今井	一男（西支部副支部長＝昭31学商）
堀田	一三（西成支部副支部長＝昭33学2経）
阿郷	侃男（東成支部副支部長＝昭45学2経）
中井	紀子（東淀川支部副支部長＝昭45学文）
福井	忠成（平野支部副支部長＝昭42学商）
今村	悦造（福島支部会計＝昭34学2経）
加藤	安宏（関大法曹会副幹事長＝昭51学法）
中村	博（司法書士関大会会長＝昭56学2経）
門脇	廣幸（自動車関大会副会長＝昭54学経）
大塚	紘二（長砂ゼミ長友会副会長＝昭41学商）
近藤	康雄（体育OB・OG会副会長＝昭43学経）
中川	經夫（応援団OB・OG千成会（部）会長代行＝昭44学文）
宮崎	文雄（スポーツマンクラブ幹事長＝昭59学2社）

B会、ロサンゼルス千里会をはじめ多くの海外支部の活動を紹介し、「海外支部の充実のため、情報をぜひお寄せいただきたい」と協力を依頼した。

来賓挨拶で、池内啓三理事長は、「正門を入って来られてお気づきのよう、今日はSF入試をはじめ各種の入学試験が行われている。また宅建試験に教室を貸与しており3000人位が受験している。キャンパスは日曜日でも大変賑わっている。

創立130周年に向けて大変大きな起爆剤になり、ありがたいと思っている。

その130周年記念事業は、5年程前から計画を進め、昨年4月に実行委員会を立ち上げて取り組んできた。「千里山キャンパスに新たなアクセス・エリアの創設」は、来年秋には完成する。関大前駅と第3学舎とでは20mの高低差があり、最後のところはエレベーターを設置する。「次世代グローバルリーダーの育成」に関しては、関西大学のグローバル化は着々と進んでいる。海外の協定校は100校を超え、この秋、交換留学生は21校から80人が来ており、本学から同じように派遣

している。留学生別科では130人程が日本語などを学んでいる。学内では7800人の留学生が学んでいる。「イノベーション創生センターの設立」は、総合図書館と悠久の庭の間に、地下1階地上4階建ての建物を建設する。11月には竣工に取りかかり、来年9月には竣工する。「なにわ大阪研究センター」の設立や、ソフト面での「学縁給付奨学金制度の構築」、「カイザースクラブの設立」も進めており、記念事業に加えた「梅田キャンパスの開設」についても、阪急梅田駅の東、鶴野町に8階建ての建物の建設が進んでおり、来年9月の竣工、10月開設の予定である。

総事業費80億円、目標額20億円に対して、やっと半分を超えたところなので、これから積極的な募金活動を展開していく」と、130周年記念事業・募金への取組みを説明し、校友の協力を求めた。

また、楠見晴重学長は、「今、グローバル化が叫ばれており、関西大学も様々な国際化戦略を実施しているが、この国際化に対して校友会が協力していただいていることを紹介したい。

この夏、私は学生の国際インターシップの視察や協定大学などの表敬訪問で、米国、タイ、ベトナムの各国を訪問した。8月にはロサンゼルスで現地千里会との国際インターシップを視察。9月にはタイのチュラロンコン大学内にある関西大学バンコクオフィスを表敬訪問したあと、ベトナムに飛び、サイゴン千里会の方々と国際インターシップを視察した。いずれも現役の学生たちが現地の授業で国際感覚を身に付けていくのを目の当たりにし、参加した学生たちからは感謝の言葉があがっていた。

サイゴン千里会の拠点である日本料理店には、関西大学の校章が常に掲げられており、校友や現地の学生たちがそこで情報交換している姿に、大変心強い思いがした。

6年前に学長に就任した時、関西大学を世界と地方を結ぶハブ大学にするというスローガンを掲げた。校友会には世界各地



に海外支部を作っていたくうお願いし、今17を数えるほどになった。

「関大には人がいる」、昨年から使用しているキャッチフレーズである。129年にわたり素晴らしい人材を育ててきたこと、そして現在も有能で元気な学生たちがいること、これこそ関大の誇りであり財産である。財産を組織化し、国内のみならず世界各地で活躍している校友会に改めて感謝したい。また、エネルギーに満ちた130周年となるよう校友の皆さんとともに努力したい」と挨拶した。

続いて会務報告が行われ、大東恭治総務部長が1年間の会務を報告した後、昨年9月にリニール開校した校友会のホームページとフェイスブックにつき、岩崎圭祐広報部長がパワーポイントを使って報告、校友の更なる利用をお願いした。

昨春秋と今年春に叙勲・褒章を受章された校友・大学関係者が舞台上上がり、代表して、関西大学名誉教授として瑞宝中綬章を受章の筒井脩先生に寺内会長から記念品が贈られ、参加者も大きな拍手で祝意を表した。

恒例の感謝状贈呈に移り、組織顕彰を受けた後、30年以上にわたって総会を開催している2支部を特別顕彰、10年継続して総会を開催している1支部を組

織顕彰し、代表者に感謝状を贈呈した。最後に、幹部役員として12年以上にわたり組織の発展に尽力されている個人功労表彰

では、39人を代表して京都支部支部長の牧村史朗氏に寺内会長から感謝状と記念品が贈られた。別稿参照。

関大キャンパスで学生に「堅気」感じる 竹内東京センター長の講演を熱心に拝聴

第2部記念講演では、北嶋弘一副会長の講師紹介のあと、名誉教授で東京センター長の竹内洋先生が「私論 戦後70年」と題して講演。

竹内先生は、「若い時からお世話になった関大から母校の京大へ。定年後に無いだろうと思っていた関大へ再び呼んでいただいた。ビックリしたが、この時『関大は寛大や』と本当に思った。ただこのフレーズ、関西圏では通用するが、関東では関西大学は知っていても略称が関大とは分からないので、東京でこの話をする時は、関西大学の略称は関大ですと先ず説明してから話します」と笑いを誘って講演を始めた。

最初に、日本は年齢に敏感な社会だというエピソードを紹介。「新聞では事件の加害者、被害者にカッコ付きで年齢を記載している。欧米の新聞では見たことが無い。さらに死体を発見した女性(48)とか書いている。なんでそれが必要なのか分からな

い。

実際に経験があるが、女優の杉村春子さんがよく行っていた京都のお店。私もよくちよく飲みに行っていたが、杉村さんが亡くなった時に京都新聞が追悼記事を作り、地元のおぼんざい屋の女将に取材した。その女将の年齢が(58)と書いてある。我々には『いよいよ大台になってしまった』と言っていたがバレてしまった。えらい京都新聞を怒っていました。私は73歳になりますが、この会場で私より上の人は、戦後70年といえれば自分の事だ、と思う。私の経験を振り返りながら、戦後70年とはどんな時代だったかを考えてみたい」と述べ、本題に入った。

まず3歳で経験した昭和20年5月の東京山の手大空襲の、母に背負われて見た真つ赤な空と強風の思い出から、父の郷里の佐渡島に疎開して経験したことを語られた。

「疎開先は、港町にあった敗

戦で休業中の女郎屋の一部屋。廊下に七輪が置いてあり、煮炊きはそこで行った。みんなが貧しく、肩を寄せ合って生きており、その頃は人と人の純粹な交流の楽しさが記憶に残っている。

小学校入学前、父に連れられ何度か東京に行った。上野駅には浮浪児がいっぱいいた。今80歳位だと思ふ。その子らにとつて戦後とはなんだったろうかなと考えたりする。戦争孤児は12万人、そのうち浮浪児は3万5千人。地上に上がると傷痍軍人が大勢いた。

佐渡島でも戦争未亡人はかなりいた。比較的困らなかつたのは長男だった人の未亡人。家があり、義父も働いている。しかし、次男・三男だった人の未亡人は、最初は面倒を見てもらえが、だんだん疎まれ、子どもを連れて私たちの居たような所に移ってくる。仕事も料理旅館の仲居さんとか女中さん。都会育ちの人は垢抜けていて、暫くすると『誰かの妾』とかの噂が出て、子どもに悪ガキたちが囃し立てる。この子の戦後70年はどうだったのかなと思ふ。戦争未亡人は48万人、父を亡くした子どもは約70万人だった。



佐渡島の人口は、昭和10年で11万人。戦後一番多かつた25年は12万6千人。疎開者や引揚者が人口を増やした。現在は5万8千人。毎年1千人減っている、あと58年で無人島になる計算である。今、地方創生とか言っているが、過疎化問題は昭和40年代から起こっていた。全国国土開発計画が何度か策定されているが、何も変わっていない。講和条約が結ばれた昭和26年9月の調査で、これで生活が良くなると答えた人は7%、かえって苦しくなるは61%だった。それが、昭和29年から史上空前の高度経済成長時代を迎え、オイルショックの昭和48年まで20年間続いた。平均経済成長率

は10・2%。これは戦後の日本にとって非常に大きな事件だったし、みんなが頑張った結果だと思っただけ。高度経済成長で得たものは大きい。何か失ったものもあると思う。それは何かという「情の文化」。庶民は貧しく辛いことが多いという中で、情の文化というのは生まれてきた。浪花節や講談でも人情物は多いし、山本周五郎の小説や、長谷川伸の股旅物でもよく取り上げられている。

情の文化は、自分より弱い人、負けた人、悲しい人に負い目を持つ、負い目の文化であり、それがだんだん無くなってきた。大学の卒業を控え、進路について考えていた時、『飢餓海峡』という映画を観た。伴淳三郎が演じたノンキャリアの刑事に、佐渡でもこんな人が大勢いたなと思った。職業にプライドを持つて実直にやっている苦労人。こんな人が日本社会を支えているんだ。私も大学院へ行ってノンキャリアな者になりたいな

と思った。そういう人間像を言葉で言う「堅気」といい、実直で律儀な人。日本にはそういう人が沢山いた。東大で哲学を教えていたケーベル博士、和辻哲郎も教わっているが、『日本人は貧しい庶民でも、良い意味で極めて貴族的であり、正直で品格があり、清潔である』と言っている。

勝新の「座頭市」の名セリフに『俺たちヤクザはなあ、御法度の裏街道を歩いてて、お天道様に顔向けできねえものなんだぞ』というのがあるが、お天道様に顔向けできないことはいないという堅気のイメージがあるから、ヤクザのプライドとしてこういう言葉がでてる。

さて、教育学の中で「隠れたカリキュラム」とか「沈黙の教育」とか言われますが、大学や学校に来ると、誰も何も言わないが教育されるというのがあります。私は、関大のキャンパスの中で学生たちに堅気というものを感ずる。20年程前、私のゼミの学生と国立大の学生と合同の勉強会をした。お茶は魔法壇に入っていたと思うが、国立大の学生は自分の分だけ注いで持っていく。関大生は複数の湯呑に注いで、大学に関係なくまわしていた。

また、関大生はユーモアがあります。これは関大に限らず、

関西という地域に根ざした沈黙の教育だと思っただけ、東京に行くと何かユーモアのあるオチを付けて話しをする。『そうしますか』という対応をされる。ズッコケちゃいますね。

最後に、『大関大』を目指してと書いてありますが、ロゴとして使っていたきたい。上から読んでも下から読んでも大関大。関関同立で他の大学はそうならない。関学大だと「大学は関大」となってしまう。

関大からは毎年多くの卒業生が出て行くが、堅気の心を忘れないで、社会のリーダーになっていただきたい」と講演を結び、会場は大きな拍手に包まれた。

凧風館で懇親会開催 応援団の演舞楽しむ

植田芳光副会長の閉会挨拶で第2部記念講演会は終了。第3部懇親会は、総合学生会館メディアパーク・凧風館2階のダイニングホールディノア（生協食堂）に会場を移して開催された。田中義昭副会長の開宴の言葉、芋縄隆史教育後援会会長の乾杯の発声で懇親の輪が広がり、参加者は、応援団の演舞などを楽しみながら旧交を温めた。逍遙歌合唱のあと三木允子副会長の閉宴の挨拶で、校友総会の幕を閉じた。

校友総会トピックス！

活動への参加者増に尽力 関大フェスin四国開催を ―組織特別顕彰の―

愛媛支部稲荷支部長
この度、組織特別顕彰を受けられた愛媛支部、稲荷和重支部長（昭55学卒）にお話をお伺いした。

稲荷支部長は現在58歳で、大学卒業後地元愛媛に戻り、就職と同時に支部活動に参加されたとのこと、既に35年以上になる。役員としては幹事長を9年、そして現在、支部長を2年務められている。

現在行っている支部活動は、役員会、懇親会、情報交換会、総会。その他に関関同立4大学合同でゴルフコンペやボウリング大会等も活発に行っている。支部運営での苦労は、やはり参加者の増員。新卒生には校友会本部提供の名簿で全員に総会



案内を発送し、また、転勤等でこられた方には、金融機関や地元自治体の職域組織をフル活用して勧誘し、総会等への参加者増に尽力されている。もう一点は、支部活動を継続的にやっていくために、執行部役員の若返りを進めていきたいとのことだった。

また、盛会裏に終了した9月の「関西大学フェスティバルin九州」に参加して、大きな感動と刺激を受けたという。今後の抱負として、我々愛媛支部を含めた四国4県5支部の総力を結集して、次回は「関西大学フェスティバルin四国」を開催したい、と熱く語ってくれた。

（広報部 北 靖久）

誰でも気楽に参加できる 支部づくり目指したい

―組織顕彰の―

静岡支部山口支部長

支部創立10周年の静岡支部が初めて組織顕彰を受けた。関西大学創立130周年の歴史を鑑みると、まだまだ駆け出しの「若い」支部である。寺内会長から感謝状を授与されたのは、今年支部長を引き継いだ山口健一氏（昭56学卒）。

元々、静岡には支部組織はな



「粉骨碎身、滅私奉公」 — 個人功労表彰の

牧村史朗氏

京都支部長の牧村史朗氏（昭和32学法）のモットーをお聞きした時、実に久しぶりに聞く言葉で、書いて字の如くすごい意味を表わしていると思った。

牧村支部長の平成16年当時の名刺には「帝産京都自動車株式会社 代表取締役社長」のほか、に帝産グループの会社9社と併せて数多くの公職及び私的な団体の役職を兼ねておられた。

そのモットーどおり、当時お休みは日曜日だけ、お正月休みは1月2日だけ、健康で声の大きいのが財産と笑われた。

かつて京都支部は、正式な活動をしていなかったが、平成元年、京都新聞社長の坂上守男氏を支部長に「新生京都支部」として再出発した際には、牧村さんは副幹事長として参画し、平



く、関西4大学合同の会に参加するだけだった。他大学に支部はあるのに、我が関大も負けては行かないと創設の気運が高まった。しかしこの10年を振り返ると続けるのがやっとだったという。

総会参加者は約30人。50代の男性中心で女性の参加はなきに等しい。なんとか人数を増やし若いメンバーを集めようと、新卒者にも総会の案内を送っている。機関紙「関大」の記事を見て連絡してきたという人もいるそう。

今後は、校友が比較的にかたまっている浜松を圏内に巻き込んで支部を活性化させ、誰でも気楽に参加できるような支部づくりを目指したいと、山口支部長は抱負を述べた。30年後に今度は、組織特別顕彰されるように、若い支部の今後の舵取りに注ぎたい。

（広報部 山本淑子）

成6年から14年までの間は参与として関職だった。

しかし、牧村さんは15年副支部長、16年坂上支部長死去後、17年支部長に就任、以来「学縁を大事に、毎年懐かしい再会と新たな出会い」そして「感情論をなくして仲良くしましょう」を大切に、「7月に総会」「年に数回各地域で懇親会」「歴史街道を歩く会」「グルメの会」などを開催し、精力的に引っばってこられた。

取材中、何度も「こうしてやってこられたのは皆様のご支援の賜物です」と言われたのが暖かく心に残り、元気をいただいた。

（広報部 三木允子）

気がつけば20年。

「良き先輩」とともに

— 個人功労表彰の

中井紀子さん

「先輩がたの支えがあったから続けられました。表彰は嬉しいですが、私より適任の方がいてはるし」と、謙虚に喜びを語る中井さん。

約20年前、休眠中の東淀川支部が盛大に復活総会を開いた際、後に校友会長となる寺内さんに誘われ参加したのが支部活動の始まりでした。当初、女性陣では國井邦子さんが中心になって女性会員をフォローしてお



り、中井さんも行事のたびにお誘いを受けたとか。

こうしたふれあいの末に幹事となり、副支部長となつた中井さんは、先輩たちと共に和氣藹々路線で支部を運営（歴代5人の支部長をサポート）。10年前からはゴルフ会、グルメ会などを頻繁に催し、会員間の交流を深めてきました。

ただ、最近では「塩山先輩、木川さん、四宮先輩を相次いで亡くし、とても寂しいです」と話したあと、「うちの支部は、ここに職場がある会員が多く、おかげさまで元気な若手が育ち、活躍してくれるようになりました。これからは彼らの時代です」と。最後は「良き先輩」の表情になつて、若手への期待を語ってくれました。

（広報部 西野京子）

校友会の奨学生でこし

司法試験合格の4人参加

本総会に、法科大学院の校友



会奨学生で、今回の司法試験に合格した4人が参加してくれました。

鈴木龍也君（2013年修了、3回目合格27歳）、白島活君（13年修了、4回目29歳）、松本伸治君（15年修了、1回目43歳）、三嶋隆子さん（14年修了、2回目）の4人で、紅一点の三嶋さんは、高校生のお子さんがおられる専業主婦とのこと。ご家族の全面的な協力で合格となったそうです。

奨学生の皆さんに共通することとは、校友会からの奨学金のおかげで、アルバイトなどせずに勉強に打ち込めたことや、非常に値段が高く手の出ない参考書なども購入でき、本当に感謝しているとのことでした。

また、同時に彼らは、校友会の奨学金を給付される優秀な院生ゆえ、学費も免除されており、そのことも併せて、関西大学に校友会に感謝をしているとのこと

と。もちろん恩返しのために、後輩たちの受験対策指導などで協力させてもらえることがあれば、喜んで協力したいとの心強いお話をいただいた。頑張れ後輩たち！（広報部 小坂圭一）

留学生も招待の「第五回関大寄席」

出演者の熱演に場内は終始笑いの渦

平成23年から校友会の事業として開催している若手校友落語家による「関大寄席」は、毎回満員の盛況をおさめているが、今年も10月24日（土）に天満天神繁昌亭で朝席として開催された。

この催しは、天神祭船渡御での「関大丸」の就航や天神橋筋

商店街との本学社会連携活動を通じて縁の深い天満天神繁昌亭を会場に、若手校友落語家を応援するために開催しているもの。今年も本紙5月号で募集したところ、すぐに満席となり、9月号では「募集締め切りました」のお断りを掲載するほどの状況で、秋晴れに恵まれた当日は指

定席券を持った校友や家族などが、開演の1時間ほど前から続々と集まってきた。また、多くの日本文化に触れてほしいと、今年も留学生を招待した。

午前10時、林家染太さんの司会で開会。例年どおり定式幕の前で寺内俊太郎校友会長が挨拶の後、開演した。

今年の出演者と演題は、出演順に、桂米輝（米朝事務所、平20学経）「看板の二」、林家染太（よしもとクリエイティブ・エージェンシー、平12学文）「今



どきのおばあちゃん」、桂春蝶（インナースケッチ、平5北陽高）「七段目」、桂三歩（よしもとクリエイティブ・エージェンシー、昭52社入学）「ないしょ話（桂三枝作）」の4人で、三味線は豊田公美子（平8学社）。

舞台では、特に北陽高出身で初出演の三代目桂春蝶が、最初に「この席に呼んでいただいて感謝しています」と述べると、場内は大きな拍手に包まれた。その後、春蝶は、北陽高時代の思い出をマクラで語って笑いを誘った後、「七段目」を身振り手振りを交えて熱演、観客に大きな感銘を与えた。また、他の出演者も、それぞれマクラの部分で学生時代の思い出を語るなどして巧みに本題に引き込み、



場内は最後まで大きな笑いに包まれた。

終演後は、出演者が揃って出口で見送り、来場者は特別な笑顔で繁昌亭を後にした。

初めての寄席体験

―留学生 王 若ティ

私は、日本に来てもう長いですが、寄席を聞いたのは初めてでした。日本文化であるとわかりつつも、寄席は自分には理解が難しい内容だと思い込んでいたからです。

しかし、今回、校友会の皆さまのお蔭で初めて寄席を観覧する機会を頂き、今までのイメージとはまったく違った寄席を見ることができて、そのイメージとのギャップにすごくびっくりしました。

まず雰囲気は、想像していたよりも客席と舞台の距離が近く、生声でもはっきりと聞き取ることができ、まるで会話をしているかのような雰囲気でした。開演と同時に、司会の方が関大OB・OGという共通点からうまく会場全体を巻き込み、終始笑いに包まれた雰囲気、留学生としての疎外感をまったく感じませんでした。

次に、私が理解できないと思っていた演目の内容に



ついてですが、確かに、日本の歴史に関する内容はまだ自分には難しかったですが、実際自分の周りでも起こりそうな話ばかりで、声や動き、さらに言語まで変えながら話されていて、留学生の私でもすごく分かりやすい内容でした。

私の知っている日本のお笑いとは違い、寄席のお笑いはより身近で、より気軽に楽しめるものだと思いました。今回の寄席を見て思いつき笑い、すごく元気をもらい、日本の文化がさらに好きになりました。機会があればぜひまた行きたいと思いました。素晴らしい機会をいただき本当にありがとうございました。（中国、社3）

春学期卒業式と学位記授与式を挙 秋学期入学式では学部と大学院に25人

千里山キャンパスで9月18日、平成27年度春学期卒業式および学位（修士、専門職、博士）記授与式が挙行された。

学部卒業生147人、大学院博士課程前期課程修了生15人、専門職学位課程修了生8人、博士課程後期課程修了生7人、論文博士4人に学位記を授与。楠見晴重学長は、「12

9年の伝統を持つ本学の卒業生という誇りを持ち、研究活動をはじめとする学生生活の経験を生かして、それぞれの道で大いに活躍してほしい」と式辞を述べた。

また、同日には平成27年度秋学期入学式も挙行され、総合情報学部1人、大学院24人（文学研究科6人、東アジア文化研究科12人、外国語教育学研究科1人、理工学研究科5人）の計25人が入学した。

楠見学長は式辞で、入学を祝すとともに「仲間をたくさん作って交流を大切にしてほしい。そして大いに勉学に励んで、充実した学生生活にしてほしい」と励ましの言葉を贈った。

留学生別科も入学式 8カ国・地域から65人

留学生別科では、南千里国際プラザで9月25日、平成27年度秋学期入学式を挙行し、アメリカ、イギリス、韓国、台湾、中国、フランス、ベトナム、ロシアの8カ国・地域から65人の新入生が入学した。



国際部長の前田裕副学長は母国を離れて生活を始める新入生に向けて、「どんな困難に直面してもあせらずゆとり努力を続けること」「他人と比較するのではなく、自分自身と比較して成長過程を認識すること」「決して諦めず目標達成に取り組むこと」の3つの激励の言葉を贈った。



ミューズキャンパス内に 投票所設置で協定を締結

関西大学では、高槻市と高槻ミューズキャンパス内に投票所を設置する協定を締結し、10月5日に調印式を行った。

2016年に改正公職選挙法の施行に伴い、選挙権年齢の引き下げが予定されており、大学



内に投票所を設置することは、学生に対する選挙啓発にもつながるとの考えから協定締結にいたったもの。

高槻市では、JR高槻駅北側にタワーマンションが建設されたことに伴い、選挙人数が大幅に増加。また、現在も新たなマ

KUBIC2015本選会開く 10年目を迎え過去最多の応募数

商学部が主催する国内最大級のビジネスプラン・コンペティション「KUBIC2015」の本選会が、10月3日に千里山キャンパスで開催された。

今年で10年目を迎えた「KUBIC」の応募総数は、全部門合計1742件と過去最多となった。

当日は、1次審査、2次審査を勝ち上がった「自由応募部門」の計10組（高校・高等専門学校学校の部および大学・大学院・一般の部から各5組）が、それぞれ考え出したビジネスプランを発表。本学及び他大学の教員、大手企業やコンサルタント会社、ベンチャー企業、行政機関の担当者などが厳正な審査を進めた。

結果、高校・高等専門学校学校の部の優勝は、大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校・

ンションの建設が進んでおり、さらなる選挙人数の増加が想定されている。

なお、大学内への投票所の設置は、高槻市では初めての取り組みで、11月22日（日）の大阪府知事選挙から運用の予定。

久保岡由衣さんの「Room for Children」新幹線も思い出の1つに、準優勝も同高校の大西奈緒さんの「人の輪繋がる医療教室」に決定した。

大学・大学院・一般の部の優勝は、関西大学商学部teams（西山遼太郎さん他3人）の「「unite」マイレージという発想」で、準優勝は慶應義塾大学商



学部の方に好カレる一団(川村澄明さん他3人)の「カスタマイズするカレー・カレーキユーブ」が受賞した。

ほか、企業賞の受賞者9人、KUBIC特別賞の2人(高校・高等専門学校の一部および大学・大学院・一般の部から各1人)、アイデア賞の1人、学校賞とあわせて表彰式が行われた。

第5回大阪マラソン開催 ランナー7000人参加

関西大学協賛の「第5回大阪マラソン」OSAKAMARATHON 2015」が、10月25日に開催され、秋晴れのなか、3万2313人のランナーが大阪の街を駆け抜け、今年も大きな盛り上がりを見せた。

第1回から協賛団体として大会に参加している本学からは、20人のランナーをはじめ、約1700人による沿道応援「ランナー盛り上げ隊!」、415人の給水ボランティア、35人のチャリティ募金ボランティア、33人の語学対応ボランティア、20人の清掃ボランティアなど約700人の学生と教職員が参加した。

また、大会直前の23日と24日にインテックス大阪で開催された「大阪マラソンEXPO2015」では、人間健康学部の小



田伸午教授・河端隆志教授と学生たちによる「ランニングフォームクリニック」を出展。来場者に協力してもらったオリジナル横断幕への寄せ書きも、マラソンへの意気込みや目標を埋めつくされ、当日は完成した横断幕を学生たちが沿道に掲げ、大きな声でエールを送った。

野球部100周年記念展 3月末まで簡文館で開催

10月1日から千里山キャンパス・簡文館1階の年史資料展示室で、関西大学野球部100周年記念展「100年の軌跡 新時代の幕開け」が、来年3月31日まで開催されている。

体育会野球部は、大正4年(1915)に創部され、今年で創部100周年を迎えた。1月には大学関係者、野球関係

者、野球部OB及び現役部員らが集い、創部100周年記念式典を開催している。

今回の企画展では、野球部の100年の歴史を、創部、海外遠征、名選手を輩出した黄金時代、プロ野球での活躍など、さまざまなトピックを通じて振り返っている。

また、本学卒業生で戦前のプロ野球・大阪タイガースで活躍し、野球殿堂入りを果たした故西村幸生氏の子女であるジョイス津野田幸子氏(ハワイ在住)が、79年前のハワイ遠征時に関大野球部のメンバーが現地の少年に贈った記念品を、手を尽くして探し出し、10月5日には、その時のサインボール3個を持って来学された。このサインボールも本企画展で展示されている。

開館時間は午前10時〜午後4



時で、入場は無料。休館日は日・祝日と大学が定めた休日。

3R推進協議会の 文部科学大臣賞受賞

関西大学、関西大学佐治スタジアムでの「地域再生・交流拠点としての空き家リノベーションの実践」と住民による空き家活用活動」が、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会による平成27年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の文部科学大臣賞を受賞した。

同協議会では、3R(発生抑制・リデュース、再使用・リユース、再資源化・リサイクル)に取り組む、顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・



信頼の実績。保険のことなら、どんなことでもご相談ください。

／ スマホもOK! ネットでカンタンお申込み! ／



ネットde保険
@とらべる

<海外旅行保険>

ネットde保険
@さいくる

<自転車保険>

ネットde保険
@ごるふ

<ゴルフ保険>



UNIVLIFE

ユニヴ・ライフ株式会社
保険事業部

吹田市佐井寺4丁目43-8 関大生協会館2階

※お電話でのお問い合わせは

TEL 06-6310-8686

FAX 06-6310-8685

【受付時間】9:30~17:30(土・日休み)



<http://www.univlife.co.jp/insurance/>

リサイクル推進功労者等表彰」を毎年開催しており、今年で24回目。環境・3R分野の表彰としては、日本でも有数の規模を誇る制度として定着している。

受賞の「地域再生・交流拠点としての空き家リノベーションの実践と住民による空き家活用活動」は、兵庫県丹波市での佐治スタジオを中心とした活動で、空き家リノベーションによる若者と地域への教育効果、地域活性化、健全な次世代型まちづくりへの貢献をテーマに、大学と地域が協働し、継続的に空き家改修と空き家活用に取り組んでいる。

システム理工の山本教授 日本学術振興会から表彰

このほど、システム理工学部の山本幹教授が、独立行政法人日本学術振興会「平成26年度特別研究員等審査会専門委員（書面担当）」において、書面審査で有意義な審査意見を付した専門委員として表彰された。

同会では、学術研究の将来を担う研究者の養成・確保を目的として特別研究員事業を行っており、平成21年度からは、特別研究員審査の質を高めるため、書面審査の検証結果に基づき、有意義な審査意見を付した専門委員を選考・表彰している。



今年度は、書面審査を行った約1600人の専門委員のうち、表彰対象となる任期2年目にあたる約600人の中から14人が選ばれた。

北陽高校90周年記念式典 250人出席し発展誓う

10月31日に大阪新阪急ホテルで、関西大学北陽高等学校創立90周年記念式典が挙行され、



来賓、卒業生、保護者、生徒、教職員ら約250人が参加し、今後の発展を誓う盛大な会となった。

第1部では、同窓会の岡田彰布会長が、「永い歴史を誇る母校には、様々なフィールドで活躍する多彩な人材が揃っている」と挨拶、池内啓三理事長に同窓会からの寄付金を贈呈した。祝辞に続き、校友である上智大学法科大学院の原強教授が「北陽からの贈り物」と題して記念講演を行った。また、校友の又吉直樹さんと月亭八光さんから寄せられたビデオメッセージも公開された。

第2部は、同じく校友の桂春蝶さんが司会進行を務め、金澤勇・野々村征武両教諭と岡田同窓会長との座談会や、ジャズバンド部と校友の足立衛さんのジャズセッション、創作ダンス部の演舞披露などが繰り広げられ、華やかに佳節を祝った。



一軸浩幸先生 お別れの会開く

8月7日に逝去された学校法人関西大学顧問、関西大学校友会会長の一軸浩幸先生のお別れの会が、学校法人関西大学、関西大学校友会、関大法曹会の共催で、10月5日午後1時から3時まで千里山キャンパス・100周年記念会館で行われた。

昭和46年弁護士登録されて以降、早くから校友会や法人の役員を務められるなど、熱心な母校ファンとして知られた一軸先生が、故人の意思として香典をはじめ自宅への弔問も固く辞退されていたため、3団体がお別れの場として設営した。

ご意志を尊重し、平服で時間内に自由に来場いただき、献花の上、ありし日の故人の思い出を偲んでいたくという簡素な形で執り行われ、250人を超える人たちが最後のお別れに訪れた。



射撃部男女が団体総合優勝飾る

秋季全関西で種目別も完全制覇

9月16～19日に大阪府・能勢町国体記念スポーツセンターで行われた第62回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会、第21回秋季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会で、射撃部が、男子は7018・1点で2位立

命館大に98・7点差をつけ、女子は2906・6点で同志社大に27・7点差をつけ、ともに団体総合優勝を飾った。

また、種目別の団体でも、男子50m伏射60発競技、男子50m3姿勢120発競技、女子



50 m 3 姿勢 60 発競技、男子 10 m 立射 60 発競技、女子 10 m 立射 40 発競技の団体 5 種目全てを制する完全優勝を果たした。
個人成績では、男子 10 m 立射 60 発競技で八川綾佑（文 1）、女子 50 m 伏射 60 発競技と女子 50 m 3 姿勢 60 発競技で土田三友紀（法 4）、女子 10 m 立射 40 発競技で阿部美咲（文 2）が、それぞれ優勝を飾った。
なお、10 月 22、25 日に同射撃

場で行われた第 62 回全日本学生ライフル射撃選手権大会兼第 28 回全日本女子学生ライフル射撃選手権大会では、優勝を目指して臨んだものの、実力を発揮することができず、団体総合で男子は 4 位、女子は 5 位の結果だった。
個人戦では、奥村美夏（経 1）が女子 10 m 立射 40 発競技で優勝、八川綾佑が男子 10 m 立射 60 発競技で 2 位に入賞した。

今後も、体育会の一員として「強い関大」のため、部員一同頑張りますので、校友の皆さまの応援をよろしく願っています。
（女川隆）

関西女子駅伝で初優勝 仙台は 8 位でシード権

9 月 26 日に兵庫県神戸市あわせの村で行われた第 25 回関西学生対校女子駅伝競走大会で、陸上競技部女子駅伝チームが、1 時間 40 分 50 秒の記録で、常勝の立命館大を破って創部初の優勝を飾った。

なお、3 区で区間 1 位の記録を出した廣瀬亜美（文 3）が最優秀選手に選ばれた。

この結果、女子駅伝チームは、10 月 25 日に開催される第 33 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都女子駅伝）への 8 年連続 8 回目の出場が決定



した。

10 月 25 日、仙台市で開催された同大会（仙台市陸上競技場、仙台市役所前市民広場 6 区間 38・0 km）では、2 時間 7 分 53 秒で 8 位となり、来年のシード権を獲得した。

テニス部男子関西 2 連覇 王座決定試合は 3 位に

9 月 6、15 日に大阪市・江坂テニセンターで行われた 27 年



度関西学生大学対抗テニスリーグ戦において、テニス部男子が 2 年連続優勝を果たした。

この結果、10 月 22 日から東京で開催される全日本大学対抗テニス王座決定試合に、6 年連続の出場が決まった。

10 月 22、25 日に東京都・有明テニスの森公園で行われた王座決定試合では、準決勝で慶応大に 2-7 で敗れ、目標の全国優勝は果たせなかったが、3 位決定戦では同志社大に 9-0 で勝利し、関西王者としての実力を見せた。

拳法部の高丸裕里が 関西と全日の個人で優勝

10 月 25 日に名古屋市・枇杷島スポーツセンターで行われた第 31 回全日本学生拳法個人選手権大会で、拳法部の高丸裕里



（経 3）が女子の部で優勝を飾った。

男子の部では、準決勝進出はならなかったが、赤堀峻（商 2）、上垣内一成（商 1）、山口弘樹（建 3）、田中友樹（社 3）の 4 人が全国ベスト 8 に輝いた。
なお、高丸裕里は、9 月 20 日に大阪府・大阪市中央体育館で行われた第 28 回全日本拳法女子個人選手権大会でも優勝している。

馬術部の松水優斗が優勝 団体戦は僅差で 2 位に

10 月 31、11 月 4 日に東京都・JRA 馬事公苑で開催された第 65 回全日本学生賞典障害飛越競技大会で、馬術部の松水優斗（文 1）・バーデンバーデン号が個人の部で優勝、期待の新人が昨年の原に続いて、表彰台の頂

大学・学生関係



上に立った。
名馬バーデンバーデンは今回が最後の試合で、松水は「有終の美を飾ってあげたい」と、人馬一体となり、すべての障害を乗り越えて、見事優勝を飾った。今大会で減点0なのは松水・バーデンバーデン組のみだった。

なお、史上初の5連覇がかかっていた団体の部は、僅差で同志社大に敗れ、2位となった。

ソフトボール部男子が 関西リーグ戦で3季優勝

10月24日に大阪府吹田市・万博記念公園総合スポーツ広場で行われた第47回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦で、ソフトボール部男子が立命館大学に2-1でサヨナラ勝ちし、3季連続の1部リーグ優勝を全勝（5勝0敗）で決めた。



ハンドボール部男子が 関西リーグ戦で2季優勝

10月4日に千里山キャンパスで行われた関西学生ハンドボ



ル連盟秋季リーグ戦の最終節で、ハンドボール部男子は関西学院大に28-20で勝利し、創部初となる2季連続（春・秋）のリーグ優勝を果たした。

野球部エースの石田光成 投手成績通算30勝を達成

10月24、25日にわかさスタジアム京都で行われた関西学生野球連盟秋季リーグ戦で、野球部のエース石田光成（経4）が、



対関西学院大1回戦に登板、関学大を完封して勝利し、投手成績通算30勝を達成した。この記録は、25年ぶりリーグ戦史上10人目の快挙。

空手道部の清水希容が 国体成年女子形で3連覇

9月4、6日に横浜文化体育館で開催された第13回アジアシニア空手道選手権大会の女子個人形で、空手道部の清水希容（文4）が優勝を飾った。

清水希容は、10月4日に和歌山県・白浜町立総合体育館で開催された第70回国民体育大会空



手道競技の成年女子形でも優勝し、同大会3連覇を果たした。

バレーボール部男子が 46年ぶりの1部昇格

11月1日に大阪府・桃山学院大学で開催された関西大学バレーボール連盟1-2部リーグ入替戦で、バレーボール部男子が同志社大にセットカウント3対2（10-25、25-23、26-24、37-39、15-12）で勝ち、46年ぶりとなる1部昇格を決めた。

なお、バレーボール部は、女子も秋季リーグで1部4位と創部最高成績を収めている。



高等部の宮原知子が スケートアメリカで3位

10月23、24日にアメリカ・ミ



ルウォーキーで行われたグランプリシリーズ・スケートアメリカの女子シングルで、高等部の宮原知子（3年）が3位に入賞した。

宮原知子は、10月3日に埼玉県・さいたまスーパーアリーナで行われたフィギュアスケートジャパンオープンでも、日本代表選手として出場し、女子個人で2位に入賞。日本チームは2年ぶり7度目の優勝を果たした。

中等部の本田真凜が ジュニアファイナルへ

10月7～10日にクロアチア・ザグレブで行われた世界フィギュアスケートジュニア・グランプリクロアチア大会で、中等部の本田真凜（2年）がショートプログラム3位から逆転で優勝した。

この結果、12月10日からスペイン・バルセロナで開催されるジュニア・グランプリファイナ



ルに出場が決まった。

関大一高アメフト部が 全国大会への出場決める

10月18日に関西大学第一高等学校で開催された27年度大阪府高等学校アメリカンフットボール秋季大会および第46回全国高等学校アメリカンフットボール



選手権大会大阪府予選で、第一高等学校のアメリカンフットボール部が優勝した。
この結果、全国大会に出場が決まり、11月14日（土）に神戸市立王子スタジアムで広島城北高校と対戦する。

関大北陽高陸上競技部が 都大路の全国高校駅伝へ

11月3日に大阪府・淀川右岸河川敷コースで開催された第66



回大阪高等学校駅伝競走大会兼全国高等学校駅伝競走大会大阪予選会で、北陽高等学校の陸上競技部が優勝した。
この結果、12月20日（日）に京都市・西京極総合運動公園陸上競技場で開催される全国高等学校駅伝競走大会への3年ぶりの出場が決まった。

「スポーツ関係の写真は、一部クラブ提供等を除き、関大スポーツ編集局」の提供です」

第38回統一学園祭賑わう テーマは「一祭台祭」

千里山キャンパスで11月1日から4日まで、第38回関西大学統一学園祭が開催され、学生をはじめ一般市民、高校生らで賑わった。

今年のテーマは「一祭台祭」。



「一切合切」を変換した造語であるが、実行委員会では、今年から学園祭の基本理念を掲げて活動しており、その理念「私たちは、一人でも多くの学部生を巻き込み、参加するそれぞれの人が関西大学の学園祭でしか味わえない感動、達成感、興味関心などの『おもしろさ』を感じることのできる空間の創造を目指します」が込められている。

期間中には雨のちらつく日もあったが、各企画・イベント・模擬店など会場は終始大きな盛り上がりを見せていた。

また、学園祭で排出されるごみの大幅削減をめざし、昨年に引き続き、今年も模擬店で使用する紙皿や紙コップは、リサイクル可能なエコトレイ容器を使用した。

ブラジル訪問で「遠くて近い国」知る

4人が集まりサンパウロ千里会を創立

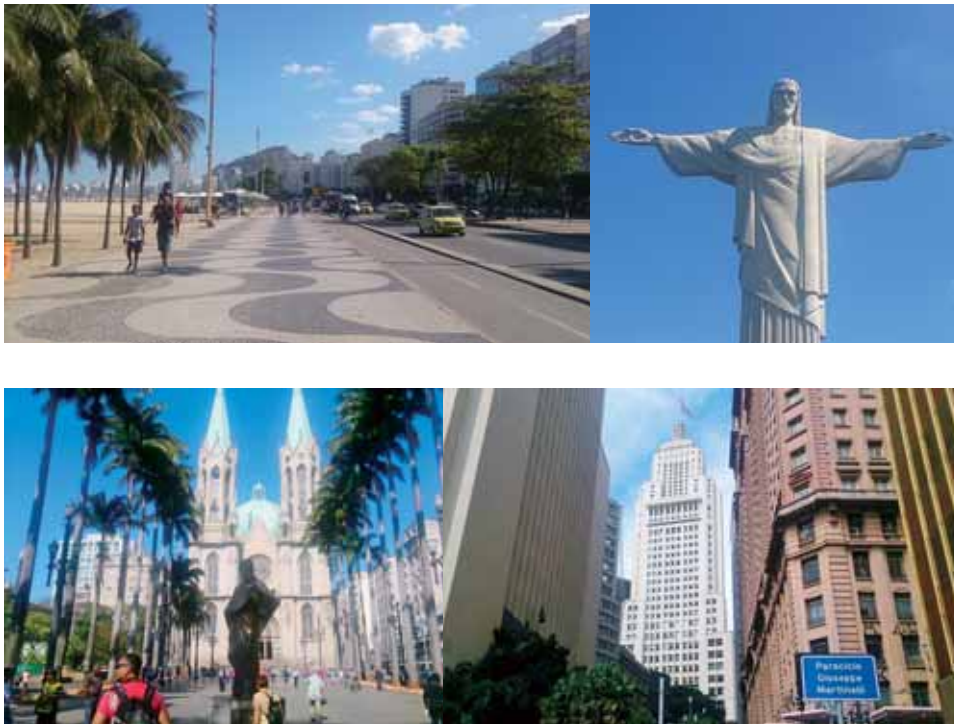
8月11日(火)から18日(火)にかけて、サンパウロ千里会の設立と関係機関への表敬訪問、視察のためブラジルはサンパウロ、リオデジャネイロを訪問した。今回の訪問にあたっては、日本ブラジル中央協会常務理事の三宅信史氏(昭47学法)、サンパウロ新聞社代表取締役社長の鈴木雅夫氏(昭50学社)がこれまで5年ほど前からブラジルでの校友会支部の設立を推進され、ようやくその気運が高まり実現する運びとなったものである。

く また、来年2016年にはリオデジャネイロでオリンピック

クが開催される。

ブラジル連邦共和国(通称ブラジル)は、ラテンアメリカ最大の領土、人口を擁する国家であり、南北アメリカ大陸で唯一のポルトガル語圏の国であり、同時に世界最大のポルトガル語使用人口を擁する国でもある。昨年度はサッカーワールドカップが開催されたのが記憶に新し

ブラジルについて



ブラジルは、ラテンアメリカ最大、世界で7番目の経済規模を誇る。かつては、1960年代後半の「ブラジルの奇跡」「ブラジルブーム」と呼ばれる高度経済成長を達成したが、1970年代以降経済は低迷し、深刻な高インフレと莫大な累積債務に苦しんだ。1980年代には債務危機に直面し一時は国家破綻寸前まで陥るが、レアル導入後の1990年代後半から沈静化し、2000年に入り発展途上国向けの貿易拡大が行われ、その後の経済の回復とともに2007年には国際通貨基金への債務を完済、債務国から債権国に転じた。現在では、ロシア、中華人民共和国、インド、南アフリカ共和国と並んで「BRICS」と呼ばれる新興経済国群の一角に挙げられるまでに経済状態が復活した。

アとして知られている。また、オイルメジャーとして有名な「ペトロプラス社」は、多数の油田を保有しており、特に深海での石油開発能力、技術力においては、日本の技術協力により世界の他メジャーよりも先行して開発が進められている。ほかにも、サトウキビ栽培によるバイオエタノール生産では、内需以上の生産量があり、バイオエタノールの世界市場において、ブラジルが占める割合は7割以上に達している。エネルギー資源の確保については、世界的に問題が深刻化しているが、エネルギー市場でのブラジルの存在感は急激に大きくなっている。



▲ペトロプラス社

ほかにも農業では、有名なコヒー豆をはじめ、とうもろこ

し、大豆、サトウキビなどの栽培や、養鶏をはじめとする畜産業も盛んである。

日本とのかかわり

日本との外交関係は1895年の修好通商航海条約調印から始まり、本年は「日ブラジル外交関係樹立120周年」を迎えた。第二次世界大戦中の断交状態があったが、1950年代初頭の国交回復を経て、活発な人的、経済的交流が行われており、その距離の遠さにも関わらず世界各国の中でも特に日本との縁が非常に深い国である。

1908年に最初の集団移民、いわゆる「笠戸丸移民」が到着して以降、ブラジルに渡った日本人移民の子孫は、5世、6世の世代になり、サンパウロの世界最大級の日本人街「リベルダージ」を中心に、海外で最大の日系人社会（約160万人）を持つ。



1950年代以降、日本の高度経済成長期にかけて、重工業から金融、サービス業や運送業に至るまで、様々な業種の日本企業がサンパウロを中心に数百家（約300社といわれる）進出している。また、電気や港湾、衛生設備など、各種インフラの充実を中心としたODAが継続的に行われている。

さらに、日本人が農業移民としてブラジルに入植して以来、日本人は「農業の神様」と呼ばれ、現在に至るまで、ブラジル社会における日系ブラジル人の高いステータスを確保する重要な礎にもなっている。

このような両国の関係から、世界でも有数の規模の日本人学校である「サンパウロ日本人学校」など、ブラジル国内に複数の日本人学校がある。日本においても、音楽やサッカーをはじめ

めとするスポーツ、カーニバルやブラジル料理などの文化が広く親しまれており、また、両国間の活発な人的交流もあり、非常に深い関係がある。

ブラジルの主な高等教育機関としては、サンパウロ連邦大学、リオデジャネイロ連邦大学、パラナ連邦大学などが挙げられる。日本の名立たるほとんどの大学は、ブラジルのこれら大学と大学間協定を結び、また、サンパウロ市や関係団体と提携するなど、積極的な連携事業や教育研究活動、人的交流を実施しているが、本学においては現在のこところ、大学間協定や連携事業は残念ながら無い。

関係機関への表敬訪問

今回は、三宅氏と鈴木氏のコーディネートにより、現地関係機関団体にも表敬訪問させていただき、ブラジル日本都道府県人会連合会（原島義弘副会長、川合昭理事）、ブラジル日系社会の中心的機関である、ブラジル日本文化福祉協会（呉屋新城春美会長、松尾治副会長、中島エドアルド剛事務局長）、ブラジル日本商工会議所（平田藤義事務局長）、更には、在サンパウロ日本国総領事館（中前隆博総領事、星野元宏領事）へ校友会設立のご挨拶をさ

せていただいた。

また、校友ではないが、縁あって、ブラジルで業界2位の美容院チエーン「S.O.H.O（蒼鳳）」の創業者である飯島秀昭社長とお会いする機会も得た。27歳で単身ブラジルへ渡られ、並々ならぬ苦労を重ね、今やブ

ラジルに30店舗、年間70万人もの利用客を持つ業界のカリスマである。現在は一線から退かれたが、「YOSAKOIソーラ・ブラジル」のイベント活動や「清掃」活動を通じて、ブラジルの人々に「日本人の心」を伝えておられる。



▲在サンパウロ日本国総領事館



▲ブラジル日本文化福祉協会



▲ブラジル日本都道府県人会連合会



▲ブラジル日本商工会議所

サンパウロ千里会の設立

8月12日（水）には、日本人街にある「ニッケイパレスホテル」にて、第1回目の会合が開催され、ここにサンパウロ千里会が設立された。今回は、三宅信史氏、鈴木雅夫氏に加えて、THG株式会社海外営業統括部の大上進氏（昭47学法）、サンパウロに移住の前田芳子さん（昭30学文）の計4名が集まった。三宅氏は、本学から初の商社マンとして三井物産（株）に入社され、1974年に渡伯以来、鉄鉱石の鉱山開発、鉄道敷設、港湾建設など多岐にわたる事業を推進され、今日まで40年余、現在は独立されてなお一貫してブラジル経済、文化、交流事業に携わっておられる。鈴木氏は、学生時代にラテンアメリカ研究部に入部され、3回生を終えて1年間休学、サンパウロ新聞社で実習されたのが縁で、ご卒業後はそのまま新聞社に入社、現在は代表取締役社長として活躍されている。大上氏は、機械メーカーのTHK（株）ご勤務で、昨年までTHK台湾の総経理として活躍され、またその傍ら台湾OB会にも積極的に参加され、キャリアセンタールの国際インターンシップにおいても大変お世話になった。日本へ帰任後すぐに、ブラジル赴

ブラジル日本都道府県人会連合会（県連 KENREN）

戦後、海外移住が再開され、送出した母国の肉親によって県海外移住家族会が結成され、さらにその全国組織たる『日本海外移住家族連合会』（家族会）が1962年に創設された。この会の目的は「移住者激励援助」にあったが、当時ブラジルには家族会との連絡活動に対応する団体がなく、1966年4月に家族会との緊密な連絡を行うブラジル側の団体として県連が創設された。

当初は、戦後海外から引き揚げブラジルに移住した日本人の權益を擁護する団体として、また移住者の消息調査、移住者家族子弟研修生の送出、家族会南米慰問団の引き受けなど、すべて移住者の切実な問題に対処する目的で発足した。

主な活動としては、移住者家族慰問団の歓迎と斡旋、技術研修員と県費留学生の斡旋、国や県からの調査団の斡旋、在外選挙獲得運動などを行っているが、「開拓先没者慰霊碑の建立および管理」、「サントス日本移民上陸記念碑の建立および管理」、「文化・スポーツ振興」、「移民のふるさと巡り」、「フェスティバル・ド・ジャポン（日本郷土食・郷土芸能祭り）」が特に重要な活動として挙げられる。



ブラジル日本文化福祉協会（文協 BUNKYO）

異国に移り住んだ初期日本移民にとって、相互扶助を目的とした日本人会は重要な組織であった。経済活動や子弟教育、会員同士の親睦のほか、医療・衛生問題への対処、行政との関係、日本との連絡調整など、日々の生活や日系人が集う特別な行事を支えた。

終戦後、各地域で日系団体が結成され、1954年のサンパウロ市制400周年祭典に参加するために「祭典協力委員会（協力会）」が発足した。これが契機となって結社の機運が高まり、続いて1958年のブラジル日本移民50周年祭に向けた組織委員会の設置決定において、協力会の組織と日系社会の結束精神を恒久に保つために「サンパウロ日本文化協会」の名称で「文協」が創立された。以後、活動範囲や事業の拡大とともに名称を替え、「ブラジル日本文化福祉協会」として現在に至る。

『ブラジル日系社会の中心的機関として、ブラジル社会において日本文化の継承と普及を促進すると共に、日本においてはブラジル文化の紹介と普及に務め、その目的を持った他団体の事業を奨励し支援する』という理念の下に、日本文化の普及、移民史料の保存・研究、各種交流を中心に、様々な年間事業や日本の伝統行事の実施、要人接待、文化施設（移民史料館、日本館、図書館、国土館大学スポーツ・センター）の運営管理などを行っている。

これら日本側の窓口として外務省の外郭団体「海外日系人協会」がある。





懇親会では、前田さんの独演会の様子を呈し、ブラジル移住の経緯、ブラジルでの生活、学生時代の恩師や学友の話、特に全日空のCA時代のエピソードは、現在では考えられないほどの苦労話で、おもしろおかしく巧みな話術に、大変興味深く全員が聞き入った。83歳となられた今も矍鑠とされ、当時の記憶も鮮明に覚えておられ、一同感心であった。いつまでもお元気で、また来年もいっしょなお話を聞かせていただきたい。

帰国前日には、駐在員が度々訪れるサンパウロ市内の日本食レストラン「梵」で夕食。ここに卒業生が集まる拠点とするため、女将さんのご快諾を得て、卓上旗を常設し、関大をアピールすることになった。

日本の真裏にあるこの国は小職にとつて「遠くて遠い国」であつたが、今回の訪問は刺激的で感動的なものとなり、実はこのように、「遠くて近い国」であることを知つた。そしてここにも、各分野で活躍される有力な校友の方々がおり、この方々の母校愛とご尽力により校友会が設立された。44万人の校友数を有する本字において、ここブラジルにも移住者、或いは駐在員として、校友がまだまだ在住しているものと思ふ。今回も他にも数名の校友が判明している



が、今後も精力的に口コミやメディア等を通じて校友募集を行

ニューク関大会

若い校友の力で設立し初の懇親会
将来は来訪の学生をOBとして支援も

8月9日(日)、かねてより進められていたニューヨーク開大会の設立に向けて、初の会合となる懇親会が、市内のレストラン「Empire Steak house」で



いたく、校友各位にも情報を是非お寄せいただきたい。

開催されました。嘗てはニューヨークにも支部が存在していましたが、自然消滅しており、ニューヨーク駐在の若手校友らが声を掛け合い、またSNSなどを利用して校友と繋がり、支部として立ち上げてくれました。

今回は、会長の住野太祐さん（平23学文）をはじめ、野中慎二さん（平22学社）、川上裕司さん（平17学経）、小林紘輔さん（平19学工）の4名の校友がご集まり、ニューヨークでのビジネス、生活事情や苦労語、母校の近況、ニューヨーク開大会の今後について語らい、充実した一

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町 島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

タブチは水や空気の配管システムのトータルサプライヤーとして、
これからもくらしの“あたりまえ”を影ながら支えていきます。

株式会社 **タブチ** 詳しくはホームページへ▶▶

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL 06-6708-0150(代) <http://www.tabuchi.co.jp/>



時間を過ごしました。「ニューヨークに来た時、まず、支部があるかどうか調べました」と全員が言っていたのが印象的で、国内外各地で活躍する校友の存在を再認識するとともに、その各地の校友会の設立が急務であると感じました。「ニューヨークでの仕事は時に辛くて苦しくて心が折れそうになるときがあります。そんな時に校友同士で助け合いながら、少しでも心の充実をはかりたい。また、将来的には、ニューヨークに留学する学生やインターシップで来る学生たちにもOBとして支援したい」と住野会長から心強い言葉もいただきました。

また、懇親会の前には、住野会長にニューヨークをご案内いただき、その折には、住野会長の学友で、現在、エバー航空のCAとして活躍の友田舞子さん（平22学文）とお会いしまし

た。フライトの都合でニューヨークに來られ、学生時代以来、久しぶりの再会となられたそうです。大学の教職員、学生時代の知り合いも多く、また仕事の関係上、世界各地を飛び廻るアグレッシブな彼女の話は尽きることなく、楽しく昼食と観光をもにさせていただきました。まさに「学縁」を体感するひとときでした。

この度、若い力でニューヨーク開大会が立ち上がりました。ニューヨークにもたくさんの校友がおられると思います。まずは、会員の拡充をはかっていきますので、年齢も世代も越えて、ニューヨーク在住の校友、公私にわたりニューヨークに関わる校友の皆さん、是非ともニユー

サイゴン千里会

狩野会長ら6人が国際インターンシップ参加学生や学長らと交流会

本年もサイゴン千里会（狩野浩二会長）は、本学キャリアセンター主催のベトナム・ホーチミンでの国際インターンシッププログラムに伴い、16人の参加学生との交流会を9月8日に通例の「ドラゴンホットポット」で開催した。

サイゴン千里会からは狩野会長はじめ6人の校友、校友会本部から田中副会長と事務局の奥



ヨーク開大会にご参加のほどお願いいたします。また、お知らせ、ご友人、先輩、後輩の方で、ニューヨークに在住の方がいらっしゃいましたら、どうぞお声がけくださいますようお願いいたします。

田、大学キャリアセンターから乾事務グループ長と担当の浅井氏、そして今回は、楠見学長もご出席いただき華を添えていただいた。

浅井氏の司会進行により、狩野会長から歓迎の挨拶、楠見学長の挨拶と進み、サイゴン千里会メンバーの紹介と大学および校友会からの参加者が紹介された。田中副会長の発声により乾

杯、歓談へと移った。

サイゴン千里会の独特の明るく楽しい雰囲気のおかげで交流会が進められ、学生たちの緊張感も次第に解け、先輩との絆を実感しながら、各テーブルで活発な質疑応答が行われた。学生らはベトナムの社会や文化風習、学生生活や就職活動、海外での校友会や校友同士の絆など熱心に聞き入り、サイゴン千里会メンバーも先輩として面白おかしく、また厳しく彼らの質問に丁寧に応えていただいた。

会の途中では学生による自己紹介も行われ、また、これまでも紹介したとおりサイゴン千里会の支部旗は当会場に常時掲げられているが、この旗の中央にある学章の由来やデザインされている章の葉について、楠見学


















■正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、ブジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間：(平日) 9:00~19:00 (土・日・祝) 10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
<http://www.jiron-auto.co.jp>

長より参加者にミニ講義も行われ、普段では得ることのできない充実した時間を過ごした。
おかげで、予定時間を大幅にオーバーし、最後は乾事務グループ長の閉会の挨拶で締め、名残惜しみつつ散会となった。
(k.karino@owell.co.jp)

香港千里会

生牡蠣ほか食べ放題の店
7人参加し90分で堪能

9月2日に香港千里会（新井一弘会長）を開催しました。今回は、生牡蠣のほか多国籍料理食べ放題のお店、チムサーチョイの「The Luxe Seafood Bar & Resto」で開催し、7人が参加しました。

会場に入ってから90分勝負のため、事前にワインを調達し、全員が揃うまでレストランの外で待機し、やる気満々でいざ会場へ。スタートと同時に皆さん生牡蠣コーナーへまっしぐらお皿に生牡蠣を大量に乗つけて、テーブルに戻り白ワインとともに堪能しておりました。そして、大量の生牡蠣を思いっきり楽しみ、巨大バイ貝、ムール貝、タイ料理、マレーシア料理等を十分に堪能し、90分はあっという間に過ぎ時間終了となりました。

なお、今回の様子は、香港の情報誌「コンシェルジュ」の方



が取材に来られており、こちらの情報誌でも香港千里会の紹介がされる予定です。

(幹事・吉岡秀幸)
(hksenrikai@gmail.com)

関関同立合同懇親会 4回目は67人が集う

10月9日に毎年恒例香港での一大イベント、関関同立合同懇親会が開かれました。この会は香港在住の関関同立卒業生、在校生にとって横の繋がりを作る機会を設けようと発足し、今年で4回目を迎えました。

当日の出席者は67人（関大からは13人、香港11・広州2）で、昨年の55人を上回る人数が集まり、クイズ大会、ゲーム大会、各校アピールタイムと大いに盛り上がりしました。中でもクイズ大会は、関関同立にちなんだク



イズを開催し、初級問題である各校の創立年度の古い順の並び替えから、難問である阪急梅田駅から各大学の最寄り駅までの電車、バス賃の合計額の安い順の並び替え問題まで母校愛が試される問題に皆さん頭を悩ませておりました。ちなみに、創立年度は古いほうから同志社、関

泰国千里会

幹事・世話人の安楽さんが日本に帰任 2回の送別会、2回の送別コンペ開催

7年間もの間、泰国千里会（中村良三会長）を盛り上げて頂いた安楽成司さん（社85）が日本に帰任されるとのことで、8月21日に高橋さん（文84）が司るバンコクの「らあめん亭」

大、関学、立命で、電車バス賃は安いほうから、関大、関学、立命、同志社です。

懇親会の最後には、各校によるアピールタイムがあり、関大は元拳法部OB白壁達久さん指揮による口上「水の都」からの学歌歌唱を披露しました。白壁さんは「こんな日も来ることがある」と、香港赴任の際に学ランを持参する気合の入りのよう。当日は学ランを着ての登壇に、この日一番の盛り上がりを見せました。

最後に合同で記念写真を撮り、2時間半の懇親会は大盛況のうちに終わりを告げ、各校2次会へと向かっのでした。

なお、今回の関関同立合同懇親会を機に、各校合同で「関関同立香港会」のフェイスブックを立ち上げ、当日の様子をアップしています。「関関同立香港会」と検索をし、当日の様子をご覧いただければ幸いです。

で懇親会を開催しました。

12人の参加者で笑いの絶えない会食となり、最後は関大の学歌、逍遙歌を大合唱し、安楽さんの言葉で閉会しました。

また、8月23日のゴルフコン

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所
及工場 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ http://www.kyoei-d.co.jp

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園
北陽高・北陽中・関大高等部・関大中等部ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞 受賞
日本食品衛生協会賞



和 洋 御 菓 子 司

株式会社 品月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

べでは、全ショートホールで安楽さんよりボールをピンに近づけられるかを競うゲーム等を行い、参加者6人で終始楽しみながらプレー出来ました。

日本への帰国は10月初旬で、まだ1ヶ月以上ありましたが、メンバー全員が今までお世話になった安楽さんの帰任を惜しみながらも、明るく関大らしい第1回送別会、送別ゴルフとなりました。

続いて、9月18日にはパンコクの「らあめん亭」で第2回送別会を開催しました。

参加者は14人で、今回は送別会と併せて、本年3月までタイ



に駐在しておられた三輪さん（政01）がタイに遊びに来られて合流、大盛況でした。関大らしく参加者全員で終始腹を抱えて笑いました。

最後は、安楽さんのリードで学歌、逍遙歌を大合唱して幕を閉じました。別れの写真撮影の際には、別れを惜しみ涙するメンバーもちらほら。今年の年末に関大前で飲み会を開催することを約束し、家路につきました。

更に、9月19日、シラチャゴルフ@レガシーマウンテンシャドウを開催。当日は前日までの雨が嘘のように快晴の中、倉田さん（工82）、安楽さん、山口さん（法01）、大熊さん（経01）の1組でプレーしました。

アンジュレーションが多く、皆苦戦、中でも先輩方に若

手2人は完敗。プレー中の会話を含め、関大の先輩の大きさを感しました。

シラチャ（バンコクから1時間半）ゴルフの後、シラチャで初の懇親会を開催。参加者12人で中田さん（経86）が切り盛りされる居酒屋「ぼちぼち」にて開催させて頂きました（串かつが最高です）。

初参加頂いたメンバーに関大グッズを贈呈。最後は、店前で関大大学歌斉唱、何年振りに歌う方もおられ、難しい漢字のところは声が小さくなったのは気のせいでしょうか。今後とも千里会にご参加頂き、思い出して頂ければと存じます。

なお、安楽先輩には泰国千里会一同、本当にお世話になり、誠にありがとうございました。

安楽先輩が帰任後も、泰国千里会を拡大し盛り上げて行ける様に、関大らしく頑張って行きたいと思っています。

Kob Khun Maak Na Krub
（本当にありがとうございました）
（坂東隆史 法99、大熊健太 経01）

広東関大会

**水野教授来訪で臨時会
12人が集い近況報告**

広東関大会（是澤秀樹会長）では、商学部水野教授の中国深

センご視察に合わせ、9月4日に深セン市羅湖区の和食「酒屋」で臨時（第12回）広東関大会を開催した。

当日は、水野教授とその門下生の胡星君を来賓として、本会では最大となる12人が参集した。前日には中国戦勝70周年記念式典が開催され、関大会開催を危ぶむ声もあったが、極めて平穩に時は流れ、大盛会となった。

今回は、香港千里会の玄島さんや初参加者の人、久しぶりの人も多く、各人の公私にわたる近況報告に華が咲いた。なかでも本年78歳の井上先輩の40年に及ぶ中国、香港のお話には、全員が興味深く聞き入った。また、水野教授からは母校の近況や中国経済の展望等たいへん有意義なお話をお聞きすることができた。



ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5

Tel 06(6941)3306 URL: <http://www.obsf.co.jp>





翌日には、広州にて学校対抗ゴルフ大会が予定されており、出場者の健闘を期して応援歌、道遥歌、学歌を全員で斉唱し、お開きとなった。（東口和文）
（東口和文 higashiguchi.kazufumi@yahoo.co.jp）

**学校対抗ゴルフ大会参加
関関同立が単独チームで**
広東開大会では、9月5日に広東省清遠市の暇日半島ゴルフクラブで開催された第10回広州学校対抗ゴルフ大会（日本航空広州支店、地域情報誌「WHEZEN」広東・共催）に出場しました。今大会は18チーム、106人による大コンペ。

前々日には、中国戦勝70周年記念式典があり、大会開催や参加を危惧する声もありましたが、何のトラブルもなく盛大に開催されました。

当日は、秦（化81）、東口（商86）、戸和（社87）、井原（化89）、松島（95）の5人の精鋭が参加。日ごろの練習成果を存分に発揮して上位に、といきかつたのですが、前日の夜更かしと当日の猛暑に悩まされ、平均NET 84・5で12位に終わりました。

優勝は、一橋大学（平均NET 77・2）。関西勢では、同志社大（6位、80・6）神戸大（9位、81・8）、関西学院大（11位、83・5）、立命館大（14位、84・6）でした。

関大単独での大会参加は3回目。今回は、関関同立そろっての単独参加が叶い、主催者も喜んでおられました。同志社、関学など、他大学はチームお揃いのユニフォームで参加しており、形から一步先を行かれています。年度は紫紺のユニフォームを揃えて上位を目指すことを誓い、香港、深セン、広州それぞれの家路につきました。

会 催 し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部関係】

平成28年校友会新年互礼会 平成28年1月15日（金）18：00 大阪新阪急ホテル
第106回定時代議員会 3月26日（土）13：00 100周年記念会館
関西大学校友会ホームカミングデー～2016スプリングフェスティバル～ 4月3日（日）10：00～15：00 千里山キャンパス
第107回定時代議員会 6月11日（土）13：00 100周年記念会館

【地域支部】

高知支部総会 11月21日（土）18：00 高知会館（岡内紀雄＝088—873—3270）
貝塚支部総会 11月22日（日）11：30 料亭この木（岡本俊彦＝072—431—3547）
奈良県関大倶楽部総会 11月28日（土）16：00 ホテルリガーレ春日野（旧春日野荘）（奈良県庁監査事務室・石川則子＝0742—22—1101）
丹波支部総会 11月29日（日）11：30 丹波の森公苑（足立清之＝0795—82—1951）
住吉支部総会・新年互礼会 28年1月11日（祝）10：30 住吉大社・吉祥殿（小林洋司＝090—3978—0551）
滋賀支部総会・賀詞交歓会 1月31日（日）10：00 ホテルポストプラザ草津（村上孝雄＝077—582—1905）

千葉支部新春総会 2月6日（土）16：30 市川グランドホテル（神田万久＝047—354—2091）
南勢支部総会 2月7日（日）11：30 伊勢シティホテル（時田耕路＝0598—26—7209）
宝塚支部社会連携事業「第6回葦水寄席」 2月11日（祝）13：30 宝塚商工会議所会議室（塚本壽一＝0797—85—1491）
大阪市内支部連合会総会 2月16日（火）18：00 ホテルニューオータニ大阪（田中義信法律事務所＝06—6316—0348）
東京支部新年総会 2月20日（土）時間・場所未定（パソナグループ常勤監査役・堺 精一＝03—6734—0218）
神奈川支部新春総会 2月27日（土）13：00 崎陽軒本店（畑 修二＝0467—54—0331）

【職域会ほか団体】

関大大阪倶楽部秋の総会 11月28日（土）8：45 太融寺北側集合→京都 勸修寺・醍醐寺（校友会事務局＝06—6368—0041）
台湾留学生在学生・OBOG忘年会 11月29日（日）18：00 大東洋
経済人クラブ第2回役員会 12月14日（月）18：00 グランド白楽天（校友会事務局＝06—6368—0041）
経済人クラブ第209回例会 28年2月8日（月）18：00 大阪新阪急ホテル（校友会事務局＝06—6368—0041）

北から 南から 《各地支部だより》

支部創設60周年記念総会に45人

母校とともに更なる発展を誓う

熊本県支部（野々口瑞穂支部長）は、8月8日にホテル日航熊本で27年度総会・懇親会を開催した。今年は、支部が昭和30年5月15日、銀丁百貨店食堂で支部活動を開始して60周年に当たることから記念総会として、昭和32年卒～平成27年卒の熊本で活躍する老若男女の校友を含め総勢45人が参加した。

第1部では、物故者への黙祷、学歌斉唱、支部長挨拶に続き、記念総会イベントとして池内啓三理事長と吉田栄司副学長から、「進化する関西大学」学是「学の実化」の具現化、「児島惟謙と坂本竜馬との繋がし」などのお話を伺い、講義を聴いているようで、久しぶりに学生時代を思い出した。

第2部では、九州各支部代表、関西学院、同志社、立命館の方々の来賓を代表して、田中校友会副会長、花田九州支部連合会長に祝辞をいただいた後、総会議事に移った。26年度事業報告、決算報告、並びに27年度事業計画案及び予算案については原案通り承認された。

会場を移動して、出席者全員で写真撮影を行い、懇親会へ。懇親会では、東郷校友会事務局長の発声で乾杯し開宴。飲食を交えながら、年代を越えた楽しい会話に花が咲いた。

時間の関係で来賓や先輩方14人に一言メッセージをいただき、時間の経つのも忘れるほどの盛況ぶりだった。なお、今回の初参加者は2人だったが、次回は更に参加者を増やしていきたいと考えている。

60周年記念タオル作成で恒例の福引は中止したが、九州各支部からいただいたお土産でじゃんけん大会を実施し、会場は大いに盛り上がった。

応援団OBのリードで、母校「関大」への想いを馳せ、全員で追送歌を大合唱。津留正美先輩（昭32）の万歳三唱で閉宴し、再会を約して散会した。

9月には、「フェスティバルin九州」の開催もあり、今年は「関大一色」の充実した年になりそうな気がする。

これまで支部活動に尽力いただいた諸先輩方に厚く感謝申し上げ、熊本県支部が母校とともに更に発展するよう期待と願いをこめて60周年記念総会の報告とします。（野々口瑞穂・52法）
（野々口瑞穂・096-384-13223）

支部初の女性支部長誕生 山下新執行部がスタート

広島支部（並川壽男支部長）では、8月29日に27年度年次総会をホテルメルパルク広島にて開催した。



当日は天候が下り坂だったが、開会までは何とか雨にはならなかった。

総会には、本部から田中副会長らと、近隣の山口千里会、岡山支部、福岡千里会、九州連合会、そして関西学院大学校友会広島支部からの来賓8人を迎え、会員34人と合わせて総勢42人の参加を頂いた。

総会議事では、26年度事業報告、決算報告及び監査報告、27年度事業計画、予算案、役員改選案が提示され、会員の熱心な討議を経て、原案通り承認された。役員改選では、広島支部初の女性支部長として、山下孝子さん（昭46法）が承認され、新しい役員と共に新執行部としてスタートすることとなった。

総会後は、引き続き懇親会を開催、田中副会長他来賓の方々の祝辞を頂き、和気藹藹と校友の輪をひろげた。途中、130

周年記念グッズのオークションを開催し、来年の記念グッズを先取りする形で盛り上がった。初参加者の挨拶、そして御土産の配布等、楽しく有意義な時間を過ごした。

最後に、学生時代応援団の副団長、チアリーダーのリーダーだった田中美奈代さん（平22文）の口上で追送歌を歌い上げ、青春時代に帰帰したような時間を過ごし、次回開催での再会を約して解散した。

（副支部長 佐久間信）
（重谷里志・090-8144-18149）

油断が被害を大きくする 河田教授が総会で講演

岡山支部（行本章允支部長）は、15年度総会を9月5日の夕、岡山市内のホテルで開催した。今年度から従来、7月の初



めに行っていた総会を初めて9月に開いた。また恒例の新年会（毎年1月開催）を取りやめていたため、昨年の総会から1年1か月ぶりの総会となったが、来賓を含め約70人の校友の参集を得た。

議案審議の後、社会安全学部教授で防災学の河田恵昭先生から「岡山の防災について」をテーマに講演をいただいた。台風接近や大雨の際「大丈夫だろう」という油断が被害を大きくすると河田先生の教えに参加者は納得した。

防災を学んだ次は、待ちに待った懇親会。乾杯の音頭に立つた上原洋允相談役の挨拶「18歳人口減少の中、関大は優秀な学生確保に努めなければならない」に共感し、乾杯の声で座は一気に和やかに。

福岡千里会の白木成光会長も駆けつけ9月27日、福岡天神で開催される「関西大学フェスティバルin九州」のPR。岡山市の林原美術館と関大との連携協定による招待券（与謝野有紀社会学部教授提供）の配布と大いに盛り上がった。

今回の総会では来年の関大創立130周年募金を実施。本番となる来秋は100人近い校友の参加を得て、多額の募金も集めて名実ともに130周年に相応しい総会にする計画だ。

（行本章允）
（ケイティープランニング）08
6-245-6980

秋の皇居散策と懇親会 首都圏他支部からも参加

東京支部（堺精一支部長）では「江戸城を歩く…歴史に思いを馳せながら」と銘打ち、校友で宮内庁書陵部陵墓調査官である徳田誠志氏（昭59学文・平1D文）の案内で、校友・同行者合わせて総勢37人が参集し、10月17日に「秋の皇居散策と懇親会」を実施した。

コースは、江戸城の表玄関にあたる大手門を午後3時にスタート。皇室に代々受け継がれてきた貴重な絵画や工芸品が展示されている「三の丸尚蔵館」を見学し、同心番所・百人番所・大番所を巡り、本丸中之門入口を経由し、忠臣蔵の舞台となっ

た「松の大廊下跡」で遺跡の説明を受けた。

その後「天守台」に登り、皇居の碧の森とそれを取り巻くビル群を眺めた。天守台の下で記念撮影の後、江戸城の裏門にあたる平川門までの合計約2キロの行程を1時間30分程かけて、ゆつくりと散策した。

午後5時から行われた懇親会では、おいしい中華料理に舌鼓をうちながら、参加者全員の自己紹介を行った。

今回の企画は、首都圏の各支部にも呼びかけ、神奈川支部と埼玉支部からも参加いただいた。参加者のコメントでは、皇居を訪れたのが初めての校友が多く、皇居の自然を体験し、春の桜や菖蒲の季節に再訪したいとの要望があった。今回のイベントや次回イベントの話で大いに盛り上がり、再会を誓い、閉会となった。

（企画担当 山田日出夫・平2法）

（パソナグループ常勤監査役・堺精一）03-6734-0218

登山者世界一の高尾山へ 口や胃袋を含めた全身運動

神奈川支部（畑修支部長）山歩きのは、8月25日に第11回「高尾山登山」を開催した。高尾山は標高599mという



低山ながら、登山者数が年間260万人で世界一である、奈良時代に開かれた真言宗智山派大本山である高尾山薬王院と修行場がある、ケーブルカーとリフトが利用できる、約1600種の植物が自生している、ケーブルカー・高尾山駅近くに、期間限定（6月15日～10月15日）の「ピアマウント」があり、「食べ飲み放題+都心から横浜までの夜景とスカイツリーの眺望」が楽しめる、など多くの魅力がある。

今回6人の校友が集まり、京王電鉄高尾山駅近くに登山口がある自然研究路6号路を使って山頂を目指した。あいにく台風15号が熊本県に上陸した日であり、今にも泣き出しそうな空模様の下で静かな山旅が楽しめた。

このルートは、多摩川の源流の一つである「前の沢」沿いを歩くので、夏向きのコースとい

える。しばらく歩くと沢の向こう側に弘法大師の伝説で有名な「岩屋大師」が現れる。立ち寄って安全登山の祈願をした。大山橋に至り小休止。更に登ると飛び石道に進み、苔の生えた石や倒木の景観を見て、最後の急登、丸太組の階段道を抜けると山頂に至る。

山頂で軽食を済ませた後、5号路（山頂ループコース）を歩き、最後にピアマウントに立ち寄り、制限時間いっぱいまで粘って、飲んで食べておしゃべりに花を咲かせた。

（代表世話役 小谷正廣・昭47商）
（畑修）0467-54-0331

「くりはま花の国」散策 支部を超えて校友繋がる

神奈川支部では、10月4日に25人が参加して三浦半島の「くりはま花の国」散策を実施した。



当日は文字通りの秋晴れで散策日和に恵まれたが、逆に好天過ぎて真夏に逆戻りしたかのような気温と強い日差しの中での散歩となった。

入口近くのコスモス園では、100万本といわれるコスモスが咲き乱れて、その上をトンボが群れをなして飛び交う長閑な景色に心が和んだ。集合写真を撮影した後は自由散策へ。長距離を歩いて展望台に上る健脚組、近道から展望台に抜けるショートカット組、ハーブ園で足湯をゆつたりと楽しむ組、園内を一周するフラワートレインに乗車する組など、それぞれお好みのコースで散策を堪能した。

近くにあるペリー公園のペリー記念館を見学した後、昼食会場へ。10月とは思えないような暑さの中を歩き続けて、皆全身汗びっしょりで喉もカラカラになった後のビールの味は格別で、宴も盛り上がった。

今回は、遠く埼玉支部から田中千代子先輩（昭29学文）ご夫妻と東京支部からも4校友を迎え、支部を超えた校友の繋がりに心強い絆を感じた。最後は東京支部藤元武彦氏（グリークラブOB）のリードで逍遙歌・応援歌を歌い散会した。

（藤原ひで子・昭48法）

長良川でラフティング 若い会員参加イベント

岐阜千里会（松村公夫会長）は、8月29日に郡上市で、若い会員の校友会活動への参加を図る「2015夏イベント」を開催した。

岐阜千里会は、今年度の活動目標に、若い校友の参加を増強することとしている。そこで、今年は県の中央を流れる清流・長良川をゴムボートで川下りするラフティングを企画した。

当日は、桑畑昌彦幹事を「長良川探検隊長」として、会員・家族の8人が参加した。このうち3人は、校友会活動に初参加の独身男性。全員、ラフティングは初体験だったが、激流を一気に下るボートは、スリル満点だった。また、穏やかな流れの場所では、岩場からのダイビングなど、童心に帰った川遊びに夢中になった。



2時間近くの上ラフティングを堪能した後は、川下りの終点にある天然温泉・子宝の湯に入浴して、川の水で冷えた体を癒した。最後に、ぎふ長良川と言え、鵜飼でも有名な天然鮎の釣り場でもある。特産の「郡上鮎」を、塩焼き・甘露煮・フライ・鮎雑炊のコースで、昼食を堪能した。特に、炭火で焼いた鮎の塩焼きには、全員が「美味しー！」と感嘆の声を上げた！

今回の新企画に参加者は皆「来年もぜひ参加したい！」と、大喜びの夏イベントとなった。11月の岐阜千里会の総会では、この様子を写真画像で紹介して、若い会員に校友会活動への積極的な参加を呼び掛けたいと思う。

（前畑忠憲）
（松村工業・正田方「058-271-3912」）

三重各支部などから来賓 エレキバンド演奏しむ

三重中勢支部（岡本祐次支部長）の27年度総会が、10月24日に津市のブラザ洞津で会員32人出席のもと開催された。

三重県は、北から南まで細長い県であるため、支部も4支部（北勢、中勢、南勢、名張）ある特異な県であり、各支部が友好関係を保っている。今総会開催に当り、来賓として本部から加藤学生支援部長をはじめ、愛



知と県下3支部からも参加いただいた。

初めに物故者に対して黙祷を捧げたのち、学歌を斉唱。来賓代表として加藤学生支援部長からは、学生支援部の説明、母校創立130周年記念事業の概要、今後の関西大学の進む方向性などの話があり、卒業生OBとして、ますます進化する母校に期待を持ちながら、心強く思った。

議事に入り、26年度事業報告、収支決算及び会計監査報告、役員改選、27年度予算案の各案が、全員の賛成で承認された。

第2部の懇親会は、会場を移し、浜口副支部長の乾杯の音頭で開宴。和やかな雰囲気の中、世代を超えて語り合いながら食事を楽しんだ。

途中、「パンカース」による、

往年のベンチャーズナンバーや昭和40年代の歌謡曲を中心にしたエレキバンドの演奏が行われ、大いに盛り上がった。

最後に、全員で肩を組み逍遙歌を声高らかに熱唱して締めくくり、来年の再会を誓いお開きとなった。（幹事長 森 貞弘）
（森 貞弘「090-5008-1696」）

美味しい酒と料理に舌鼓 グランヴィア京都で総会

京都支部（牧村史朗支部長）の27年度総会が、7月4日にホテルグランヴィア京都で開催された。1部総会は、一ノ瀬隆一副支部長の開会の挨拶で幕を開け、牧村支部長の挨拶に続き本年度の活動報告、来年度の計画についての議事が円滑に進行した。

2部交流会は、来賓の寺内俊



太郎校友会会長、池内啓三理事
長よりご挨拶を頂き、杉本秋男
愛知支部長の乾杯にて開宴。

美味しいお酒と料理に舌鼓を
打ちながら、それぞれが近況報
告や思い出話に花を咲かせた。
会は初参加者紹介、母校のチア
リーディングと応援団によるア
トラクションや、恒例の抽選会
で盛り上がり、さらに全員で肩
を組んでの逍遙歌で頂点に達
し、西村福治副支部長閉宴の辞
で大盛会のうちに幕を閉じ、ま
た次の再会を楽しみに開きと
なった。

まだまだ物足りない方たちは
同ホテル内の2次会会場にて交
流を深めた。(事務局 壽見芳正
(壽見芳正 0774-24-8
008)

京都女性校友の集いと 中・東地区合同懇親会

朝夕涼しくなった9月26日、
京都支部の女性&中・東プロッ
ク懇親会が開催された。会場
は、四条大橋のたもとにある北
京料理「東華菜館」。

ヴォーリス建築の洋館(登録
有形文化財)ですが、今回は涼
しい風の吹き抜ける川床での懇
親会になった。

参加者は、校友と家族を含め
て36人。初参加の方も交え、和
気藹々と親交を深めた。京都在
住の北嶋弘一名誉教授(校友会



副会長)も参加され、創立13
0周年記念事業によるキャンパ
ス整備のお話を伺うことができ
た。

美味しいお料理と美酒をいた
だいていると、中秋の名月が雲
の間から顔をのぞかせ、皆さん
から、感動の声があがった。

由緒ある「東華菜館」の川床
で情緒あるひと時を過ごすこと
ができた。また来年も川床でお
月見をしようとの声もあがり、
より多くの女子校友のご参加
をお待ちしております。

(吉川和代・56学文)

恒例グルメの会に29人 皆出席の廣田先生を偲ぶ

京都支部の恒例親睦会「グル
メの会」が、10月23日に開催さ
れた。会場は今枝徳蔵校友(昭
36法)が経営される「ちゃんこ



横綱」で、29人の参加をいた
き、初参加は2人であった。

中央市場直結の仕入れ、毎回
超破格の企画だけにリピーター
も多く、いかに毎回楽しみにし
ているか参加者の表情が物語
る。今回は松茸と鮑をメインに
新鮮な鯛や鮪をご用意いただ
いた。

まず冒頭、9月7日に逝去さ
れた廣田君美先生(関西大学名
誉教授)に黙祷を捧げた。先生
はこの親睦会を楽しみにされ、
たえず出席いただき、乾杯、時
には閉会まで意気軒昂と「人生
ミニ講話」といえる含蓄あるお
話で、参加者全員を応援し鼓舞
していただいた。

牧村支部長(昭32法)の乾杯
の挨拶で会がスタートし、おい
しい料理に舌鼓を打ち、各テー
ブルで話の輪が盛り上がり、初
対面の校友も一度に打ち解け開
大の絆を感じながら、あつとい

う間に時は過ぎてお開きの時間。
毎回お世話いただいている「ノ
瀬隆一(昭35法)、西村福治
(昭41商)両副支部長に感謝し、
帰路についた。

(太田富博 昭55法)

若手と女性校友多数参加 レガッタ出場漕艇部激励

東播支部(角谷賢造支部長)
は、総会・懇親会を9月18日
に、加古川プラザホテルで来賓

を含め総勢116人の参加を得
て開催した。当支部は兵庫県の
加古川・高砂両市と加古郡稲
美・播磨両町の2市2町に在住
または在勤する校友により組織
されている。例年どおり校友会
本部、近隣支部の役員の方々に
臨席いただき懇親会に華を添え
ていただいた。



1部の総会がスムーズに終わ
ったあと、来賓に入場いただき
懇親会の幕を開いた。母校応援
団第93代小山圭太団長の力強い
リードで学歌を斉唱したあと、
支部長の挨拶。

来賓祝辞は隣接姫路支部長で
もある植田芳光校友会副会長か
ら母校の近況報告を含めた心温
まる言葉をいただいた。新入会
員を紹介し、それぞれから初々
しい挨拶があった。

11月上旬の加古川レガッタに
出場する母校漕艇部の北浦章監
督と寺田拓実将に、支部長と
加古川市役所千里会会長から激
励金を贈り、寺田主将の元気な
抱負に大きな拍手が沸いた。

支部顧問で前加古川市長の樽
本庄一氏の発声に合わせて杯を
あげ、会場の雰囲気は途端に賑
やかになった。各テーブルの料
理は急ピッチで胃袋におさま
り、空き瓶が一段と増えて宴たけな
わのころ、鼓手が叩く大太鼓の
音にビックリすると、母校応援
団12人による演舞が始まった。

応援歌・学生歌・関大マグマ
などおなじみの曲が続くうち、
リーダー部3回生竹内美沙保さ
ん演舞の妙見拍子にはひと際大
きな拍手が送られた。

このあと、7月2日に吹田メ
イシアター大ホールで開催され
た応援団「団祭」のDVDが団
員のPRにより販売されたこと

ろ、予定数は瞬間に売り切れて応援団諸君への関心の深さが如実に表れていた。

閉会に先立ち、参加者が肩を組み合せて円陣を作り、深田晋平副団長のリードにより道遠歌を熱唱したあと、参加者全員で記念撮影をして散会した。

母校では女子学生の比率が年々上昇していると伝えられているが、支部総会にも若手と女性校友の参加者が増えてきているのは嬉しい限りだ。

(副支部長 岩坂純一郎・47文)
(猪子真一＝0900-2194-5186)

篠山デカンショ祭に参加 揃いのTシャツで関大連

本年、日本遺産に認定された第63回丹波篠山デカンショ祭が8月15日に行われ、篠山支部(中瀬和夫支部長)は、先の総会での決定どおりデカンショ祭に「関大連」として参加した。

午後4時過ぎから篠山城の三の丸広場に、関大マークと篠山支部のロゴ入り揃いのTシャツを着た役員が待機する中、早々と大阪住吉支部の小林洋司支部長をはじめ多くの校友が到着され、場は一気に盛り上がった。

ほどなくデカンショ踊りの講習が始まると、「関大連」参加の皆も本番に向けて練習に力が入り、ベテラン校友のアドバイ

■支部の地域連携事業報告■

高砂市の万灯祭に模擬店 20歳代の若手会員が担当

東播支部(角谷賢造支部長)も今年で設立32年目、成熟期を迎える。

そこで、地域社会と積極的に関わりを持ち、母校並びに校友会の素晴らしさをPRする場として、9月19日、高砂市の地域イベントである「万灯祭」で模擬店を出店した。

当支部がエリアとする2市2町に在住する20歳代の若手会員12人が担当した。会員の中には大学時代にサークル活動で習得したバルーンアートをサービスで差し上げ子供たちに変喜ばれ、スタッフの会員も楽しく交流が出来た。

この事業は、大変有意義な



ものとなり、今後も、継続的に実施していければと思っている。

(猪子真一＝0900-2194-5186)

昨年に続き区民祭に参加 古本の無料配布を実施

第41回都島区民祭りが、9月26日に晴天のもと都島区毛馬桜宮公園一帯で開催された。前日まで雨模様で天気が心配されたが、当日は朝から天気も回復し暑い一日だった。

区民祭りは、例年同様たくさん模擬店が出店され、都島支部(香西安勝支部長)もテントのブースを借りて、昨年同様古本の展示・無料配布を行った。ジャンルは、専門書、文庫本、啓発書、マンガ本等々。支部会員の持ち寄りで四百冊程の書籍が集まった。

11時からの開始だが、興味をお持ちの区民の方々が30分前からテントに集まって来られ、興味のある本はないかと物色されていた。11時開始と同時に次々と気にいった本を持ち帰られた。

関大校友の区民の方も、何人か覗かれていたので、名前と卒業年度をお聞きし、都島支部



入は更に際立ち、開催時刻前から『風船・古本市』は大いに賑わった。支部会員の親睦は勿論のことであるが、現役学生にも訪れて頂き、新たな親睦も生まれた。さらに支部校友2人に参加の意思を頂いた。

また、此花区長から例年の活動に対して労いのお言葉を頂いた。前年に引き続き、ケーブルテレビの取材を受けて、母校の広報活動にも貢献できた。その放送が待ち遠しいところである。

(幹事長 秦 嘉晃)
(山口土建＝06-6461-1049)

「風船・古本市」賑わう 此花区民まつりに参加

10月25日に此花区「区民まつり」が開催され、此花支部(山口啓支部長)も地域連携活動として参加した。

支部旗はもとより、本年度から職1対を加えることで、プー





れが同じ時間を共有しながら旧交を温めた。

花火の後は、2度目の総踊りが展開され、「関大連」も再びデカンショ踊りに酔いしれる中、夜が更けていき、またの再会を誓ってお開きとなった。

(小山英二・41法)

(松本嘉久男 079-55612851)

特別出演でベリダンス 母校のサークルが披露

宝塚支部(門田安正支部長)は、27年度の総会を10月10日に宝塚ホテルで開催した。

本部から田中義昭副会長、近隣支部代表者、関西学院大学同窓会宝塚支部、池田泉州銀行関大会、宝塚市役所関大会と支部会員ら60余人の参加者があつた。

門田支部長は挨拶で、同好会等支部事業を通じて地域との連携をさらに深めて行きたいと述べる。昨年に、昨年発足した「女子会」の活動報告があつた。

懇親会では、来賓を代表して田中副会長から躍進する大学の現状や、阪急関大前駅北側エリアの整備計画についての説明のほか、130周年を迎える母校への更なる支援についての強い要請があつた。

宝塚支部ならではの音楽をテーマにした本年の特別出演は、



が肩を組んで逍遙歌を合唱し、来年の再会を期した。

(副支部長 柴田寿一)
(塚本壽一 0797-851491)

設立76年目に女子会新設 「壮青」の参加が増える

第76回尼崎支部(大角教雄支部長)総会が、9月5日に市内の都ホテルニユーアルカイツクで、来賓、支部校友合わせて98人が出席し開催された。

1部総会では、田中正喜幹事長の開会宣言でスタート。学歌斉唱、物故校友への黙祷の後、大角支部長が「今年76年目を迎えたが、新たに女子会を設けることにした。従来からの支部方針「老・壮・青相集う」をモットーとした校友の大きな輪を作り、校友会の軸の一つとして活動していこう」と挨拶。

議案の審議に入り、前年度事業報告、会計報告、監査報告に続き、今年度事業計画案、予算案を審議し、すべて承認された。2部懇親会では、母校マンドリンクラブ8人による、繊細な心とむ音色を3曲演奏披露でオープニング。

河本享副支部長の開会挨拶と山田実、山中直子両幹事の司会で進行。三木允子校友会副会長が、新入学生の状況と大学イメージの変化など、大学の現状報

告を含めた挨拶の後、畑勝美事務局長、土橋良一総務局長からも挨拶があり、森山敏夫尼崎市役所秀麗会長の乾杯発声で懇親会が始まった。

懇親会では、恒例の「大学卒業50年校友」への記念品贈呈を行い、乾哲夫、鳥羽正多、町井昭雄、重田守康副支部長(敬称略)の4人が登壇し、乾校友が当時の思い出(昭和33年頃の関大)を含めた代表挨拶をされた。また今回参加の現役学生2人

(池田君・北村君、共に法3)と、初参加者5人の紹介および挨拶など、今年は「壮・青」の参加が増えた中、各テーブルで和やかに交流が始まっていた。そして、第93代団長小山圭太君をはじめとする応援団演舞・演奏が始まると更に盛り上がり、会場全体が一つになった。時間



を忘れての懇親会も道遙歌が始まり、全員で会場いっぱい大きな輪となった大合唱で盛り上がりは最高潮に達した。

最後に野草信次副支部長の「これから心は一つ、思いは一つとなって引き続き支部への支援をお願いします」と述べ、来年の再会を期して閉会となった。

(広報部長 松本勝憲)
(田中正喜) 06-6499-1948)

4 同好会の合同夕涼み会 今回は「釣り」が幹事役

台風一過の8月29日、川西支部(井上能一支部長)恒例の4同好会合同の「夕涼み会」を料亭・音羽多田別館で開催。今回は「釣り同好会」が幹事役を担当し、ゴルフ・歩こう・史跡の校友36人が参加。

全員による支部物故校友への黙祷、初参加校友の紹介に続き、「釣り同好会」山内眞一郎会長の開会の挨拶、井上支部長挨拶、水口博喜名誉支部長の乾杯の発声により盛大に開宴。

今夏の記録的な猛暑で若干弱った体調回復のための酒池肉林、久しぶりの支部校友との飲みニケーションは「今日用と今日行く」を基本とした川西支部の目指す健康長寿に相応しい楽しい宴となった。

宴半ば、各同好会から今期活



動の中間報告が行われ、各々の活発且つアイデアに溢れた活動ぶりが披露された。

最後に、「歩こう会」鎌田幸雄幹事から年末「納会」の企画の説明があり、次回への期待を高めて頂いた。

ここで終わらないのが川西支部の特徴。幾つかのグループに分かれ、いつ終わるとも知れない二次会・三次会へ...

(釣り同好会副会長 本田哲也)
(荒木敏雄) 072-758-1787)

3年越しのBBQ・納涼会 女子会員が人の親和演出

芦屋支部(直林法廣支部長)では9月5日に、2年連続の雨天中止を経てようやくBBQ・納涼会を、日下幹事の好意により自宅の庭にて開催した。六甲山系の野趣に風雅をたたえた奥池の会場には、東大阪支部からの



お客様や、7月の芦屋サマーカ―ニバル(花火大会)に屋台出店の音頭をとった坂本幹事をはじめ、家族での参加もあつて25人が参集。

7月4日の組織代表者会議で登壇された浅尾さんや、『関大』第588号の支部だよりにて結婚を報じられた平田さんも夫妻で参加され、女子会メンバーが「人の親和」をより輝くものに活躍された。

企画段階からの連絡調整や、欠席される先輩方からの差し入れをお預かりし、予算内での備品調達や当日の買い出しに至るまでの用務の労も、参加者の弾む会話と笑顔に報われるのは、他支部の幹事さんと同じであろう。いやはや長い夏休みの宿題

を、3年越しによりやく提出し終えた次第です。

(中村響乃信・平10法)
(依藤健史) 0797-23-7004)

神戸で第13回女子会 震災の学習見学も行う

さわやかな秋晴れの10月31日、今回はいつもと趣向を変えて、芦屋を飛び出し、お隣の神戸市灘区にある「Ristorante Bibo」で第13回芦屋支部女子会を開催しました。

一人ずつの近況報告から、アメリカ、フランス等に目を向けた政治的・経済的なお話まで、幅広い話題で今回もまたまたおおいに盛り上がりました。ハロウィーンのそもそのの意味や、永住権取得の方法から選挙権のお話、自分達の家族のことまで、話題は尽きることなく、いつもながらお互いを刺激し合いました。



た。

ランチの後は、河田教授が館長を務める「人と防災未来センター」へ学習見学に行きました。1・17シアターでは地震破壊の凄まじさを大型映像と音響で体感できたり、震災直後の街並みをジオラマ模型で再現していたり、阪神・淡路大震災や東北大震災の経験と教訓を未来に伝え、風化させてはいけないことが我々の使命だと改めて痛感しました。

(糸川寿子 昭62学社)

防災設備 設計・施工・保守点検・機器販売



株式会社 中本商會

代表取締役 東 潔 (S54年一高卒・S58年商学部卒)
取締役 東 宏 (S47年一高卒・S51年法学部卒)

〒564-0028 吹田市昭和町29番1号
TEL 06-6383-1121 FAX 06-6383-1176

全国
合格者占有率

No.1

41都道府県（沖縄県を除く）での開講にもかかわらず
全国の合格者の2人に1人以上が
当学院現役受講生!

全国
合格者
占有率

54.8%

全国合格者3,793名中、当学院現役受講生2,077名

関西大学 平成26年度 1級建築士合格者

卒業合格者42名中、26名が
当学院の講座を利用して合格されました!

当学院受講率 **61.9%**

※卒業学校別合格者数は、試験元である（公財）建築技術教育普及センターの発表によるものです。＜平成26年12月18日現在＞

平成26年度 **2級建築士** 試験

全国ストレート合格者の10人に4人以上は
当学院の現役受講生!!

全国（平成26年度学科+製図合格）
学科・製図ストレート
合格者占有率

42.7%

全国ストレート合格者4,052名中、当学院現役受講生1,729名
＜平成26年12月4日現在＞

平成26年度 **宅建** 試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

8割出席・8割宿題提出・公開統一
模試得点率8割以上現役受講生
134名中、合格者115名

85.8%

＜平成26年12月3日現在＞

平成26年度 **1級建築施工管理技術検定**

【学科試験】

当学院基準達成 現役受講生
合格率

88.1%

8割出席・8割宿題提出 現役受講生286名中、合格者252名
＜平成26年7月25日現在＞

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級 建築士	2級 建築士
構造設計1級建築士	設備設計1級建築士
1級・2級 建築施工管理技士	宅地建物取引士
1級・2級 土木施工管理技士	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(一社)日本経済団体連合会会員 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(一社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号 第009号
(一社)全国産人能力開発団体連合会会員 宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一級建築士定期講習 登録番号 第5号
建設省大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-253-0481
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
天王寺校 TEL.06-6771-4311	奈良校 TEL.0742-30-1511
堺校 TEL.072-222-9311	和歌山校 TEL.073-471-2711

今すぐウェブ検索

ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>
www.shikaku.co.jp

学院長 **岸 隆司** (法48卒)

私たち総合資格学院はおかげさまで、
創立35周年を迎えました。
これから有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。



新支部長に小川哲男氏 市役所との連携を表明

大東支部（清水正義支部長）
27年度総会が、10月23日に大東
市民会館で、田中義昭校友会副
会長、田中義信組織部長はじめ
北河内地区の支部役員の方々、
関西学院同窓会大東支部若見
事務局長を来賓に迎え、会員28
人が参加して開催された。

第1部総会は、東村幹事長の
司会で始まり、物故者への黙
祷、関西大学マンドリンクラブ
の伴奏による学歌斉唱の後、議
事に入り、第1号議案（26年度
事業報告承認について）、第2
号議案（同会計報告・監査報
告承認について）、第3号議案
（27年度事業計画案・同予算案
承認について）が上程され、全
員異議がなく承認された。第4
号議案（役員改選について）
は、支部長に小川哲男氏が、副



支部長に川村常雄氏が新任とな
り、新しく幹事に5人が選任さ
れた。

小川新支部長から、会員の拡
大、とりわけ平成卒業の若手会
員・女性会員の支部総会等の行
事への参加を促し、大東市役所

関友会との連携強化を図ってい
くとの表明があった。

第2部懇親会は、田中副会長
から、来年の母校創立130周
年記念事業について、熱意のこ
もった報告があった。

松本高顧問による乾杯の後、
マンドリンクラブの洗練された
演奏で、会場は和んだ雰囲気にな
った。好例の斧靖博顧問によ
る大阪締め、道達歌の合唱をし
て盛り上がり、閉会となった。

（小川哲男）
（小川不動産鑑定事務所 06-
6448-2287）

関西大学130年の歴史 藪田貫名誉教授が講演

豊中支部（上村学支部長）の
27年度総会が9月26日に千里阪
急ホテルで開催された。当日は
校友会から渡邊副会長はじめ、
近隣支部の支部長、役員を来賓
に迎え、同伴者を含めての参加



となつた。

第1部の総会は、支部長の挨拶・来賓の永田常務理事からは、挨拶と創立130周年記念事業の概要の説明があった。続いて議事に入り、26年度の事業報告・決算報告及び27年度の事業計画が異議なく承認された。続く役員改選では、上村支部長他全員の留任が異議なく承認さ

れた。

第2部の講演会は、関西大学
名誉教授・兵庫県歴史博物館
長の藪田貫先生による「関西大
学130年の歴史」のテーマで
来賓の皆さんも拝聴され、母校
の130年の歴史にあらためて
感銘を受けた。

第3部の懇親会では、渡邊校
友会副会長の挨拶、来賓紹介、
祝電披露の後、元衆議院議長中
野寛成氏の乾杯の首頭で懇親に
入った。今年3月に卒業した新
会員や初参加の女性会員のテー
ブルスピーチがあり、毎年好評
の福引は、今年も果物、高級メ
ロンからリングまで出席者全員
に配られた。最後は全員肩を組
んで第91代応援団長村上雄紀君
のリードで道達歌を合唱し総会
を終えた。

尚、来年の支部総会は、9月
24日（土）に開催することが決
まった。会場については後日決

定の上、支部会報に掲載するので多くの支部校友が参加される事を期待する。

(幹事長 横畠正秀)
(横畠正秀) 06-6331-2755

桂三歩の熱演に笑いの渦 ちびっ子チア演技に歓声

9月19日、母校の膝元である吹田支部(谷康司支部長)では、吹田市文化会館「メイシアター」で27年度総会を開催。田中義昭校友会副会長、池内啓三法人理事長、後藤圭二吹田市長はじめ、近隣友好支部代表者など来賓を含め90人近くが出席し、地縁、学縁を確認し合っていた。

総会は谷支部長の挨拶で始まり、来賓紹介の後、田中校友会副会長から挨拶をいただいた。そのなかで、来年11月4日に130周年を迎える母校が推進している記念事業に対する協力を要請された。

支部長を議長に議事が進められ、渡邊善孝幹事長、小上廣之会計などが議案について説明、全議案が原案通り承認された。

第2部では、例年の講演会から趣向を変え、校友の落語家・桂三歩さん(52社入)が登場、落語会が開催された。三歩さんは和歌山県出身で、落語大学出身の桂三枝(現・六代桂文枝)



に入門、古典落語の他、創作落語も手がけている。演題は「おたのしみ」で、三歩さんは40分間にわたり会場を爆笑に包む熱演で、参加者は大満足の舞台だった。

「おたのしみ」の後、会場入口横の階段で、後日全員に郵送される記念写真の撮影が行われ、会場をかえた第3部はお楽しみの懇親会。若々しい青年部幹事が進行役を務め、まず池内法人理事長、後藤吹田市長、渡嘉敷奈緒美衆議院議員からお祝いの言葉を頂いた後、児玉憲夫法人顧問の乾杯の発声で懇親の宴が始められた。

各テーブルで懇談が続く中、新卒者や初参加者が紹介されて次々とステージに登場し、自己紹介して会場から歓迎の拍手を受けていた。

議員参与、近隣支部代表の祝

辞の後、会場がにわかに歓声に包まれた。アトラクションでちびっ子チアダンスチーム「ブルースターズ」の45人が入場、元気はつらつのダンスを披露したからだ。出席者たちちびっ子の保護者からは大きな拍手が起こっていた。

続いては恒例の福引大会。空くじなしの海産物賞品に会場は活気にあふれ、昨年に続いて行われた130周年記念事業募金の呼びかけに、当選者は次々に募金箱にお金を入れていた。

(副支部長 三浦稯吾)
(小川将史) 06-4981-5107

懇親会はベリィダンスで チヨい盛り上がり見せる

9月19日に枚方支部(西田政充支部長)の定時総会が、北大阪商工会議所大ホールで開催され、五藤法人本部長、渡邊校友会副会長らをはじめ、近隣支部から9人の幹部の方を来賓に招き、総勢70人が出席した。

今年は、会則の改正や慶弔規程の新設などで、久しぶりに会員からの質問があり、本当の意味で総会らしい年でもあった。

懇親会では、現役のベリィダンススクール「ベリィディーパス」を迎え、あでやかな演技を披露していただき、多くの会員が今まで見たこともないダンス



を目的の当たりにし、箸やコップを持つ手が止まり、固まったかのように見入っている様子がとてもおかしかった。

彼女らの演技が終わりにテープに着いた途端、近隣支部からはさっそくオフアールが入り、彼女らのテーブルには、終始多くの人が集まっていた。

閉会の際には来賓への手土産を、すっかり渡し忘れてしまい、最寄りの駅まで走って追いかけたというハプニングもあり、何年か後にも思い出せそうな総会だった。

(幹事長 永盛啓司)
(永盛労働事務所・永盛啓司) 06-6170-4864

北淡の魅力満載の一日 第34回バスツアー開催

守口支部(川部政彦支部長)では、9月12日に第34回目のバスツアーを開催し、31人が参加した。数日前まで台風の進路次



窓を考える会社

YKK AP株式会社

大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

ビル建材第一事業部 大阪支店

www.ykkap.co.jp

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり 一度お電話ください。

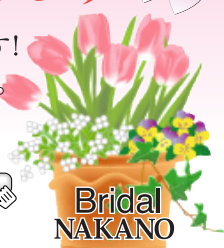
TEL 06-6702-8624

ホームページでも詳しく紹介しています。

ブライダルナカノ

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談所サポート協会会員





第では開催を懸念される状況であつたが、当日は見事な快晴となつた。

今回も出発早々の車中において、杉本常任相談役の般若心経で、道中の安全を祈願し淡路島へと向かう。最初に夢舞台温室「奇跡の星植物園」を見学した後、「イザナギノミコト・イザナミノミコト」を祀る日本最古の神社「伊弉諾神宮」へと進む。知人の守居神社宮司を通じ正式参拝の申し込みをしていたことから、丁寧なもてなしを受け参拝することができた。昼食後は「たこせんべいの里」で無料のドリンクと試食の食べ放題を楽しむ。

次に香りのテーマパーク「パルシェ香りの館」でハーブ温泉の入浴やお香・石鹸作りを堪能した後、真言宗「八浄寺」に参拝し大黒様に開運を祈願。

帰りの車中ではビンゴゲームを楽しみながら守口に到着、あ

つという間の一日であつた。

(副幹事長 青木哲夫)
(幹事長・北町収) 06-6991-0169

懇親ボウリング大会開く 第1回優勝は河合克己氏

東大阪支部(松葉健一支部長)第1回懇親ボウリング大会が、8月29日に八戸ノ里ボウリングスペースヒットで開催された。

28人の校友および関係者が参加し、全員が心地よい汗をかきながら楽しい一時を共有することができた。

ゲームは、鎌田益廣相談役の始球式で始まり、懇親主体の大会であつたが、全員が先輩からのプレッシャーに負けることなく真剣にプレーした。

また、先輩方は日頃から健康に気を付けて体力を鍛えておられるようで、澁刺とプレーされ



ていた。

ゲームに続き、表彰式・懇親会が行われた。栄えある第1回優勝者は、河合克己校友(39年卒)となり、賞状と優勝賞品が松葉支部長から贈られた。

懇親会では、日頃の力が十分に発揮できずゲームの反省を語る人、次回大会に向けて翌日から練習すると宣言する人がいるなど、和やかな交歓のひと時を過ごし、更なる校友間の懇親を深めることができた。

今回は、十分な準備ができなままの開催となつたが、今回は今回の反省を踏まえ、参加者の増員も図り、また、地域連携として市内の児童養護施設の児童を招待するなどより良い大会とすべく準備したい。

最後になつたが、本大会開催に当たり協力いただいた先輩を始め、賞品・参加賞等を提供いただいた企業様には、この場を借りてお礼を申し上げます。

(幹事 寺島尚生)
(ソフトスマイル保険) 06-6721-0922

河内近隣支部交流深まる 恒例のぶどう狩りに41人

柏原支部(川崎雄治支部長)主催の恒例ぶどう狩りを9月13日、柏原市「夕日の丘観光農場」で河内地区近隣支部の参加を得て開催した。参加者は柏原



13人、八尾25人、富田林2人、東大阪1人の41人で、特に八尾支部の特別の動員に深く感謝する。

この催しでは、支部を超えての会員の交流に深く意義を感じており、今後もぶどうを賞味しながらの各支部との親睦を続けていきたいと思う。また、校友会発展のため、他支部行事への参加も含め、河内近隣支部とのさらなる関係を深めていきたいと思つている。

(支部長 川崎雄治)
(川崎雄治) 072-971-5225

奇術研究部の学生が出演 想像以上の歓喜・歓声

淀川支部(山本章一支部長)

27年度定時総会及び懇親会を9月5日に十三のホテルプラザオーサカで開催し、植田校友会副会長はじめ来賓の方を含め、総勢23人の出席を頂き大いに氣勢をあげた。

会員による総会は、福田総務の司会により報告、決議共に滞りなく進行し、スムーズに終了。その後、豊原幹事の軽妙な司会による懇親会が開催され、植田校友会副会長の挨拶から始まり、中村校友会事務局次長の乾杯の発声の後、各テーブルで歓談、酒杯の交換が行われ、皆さん大いに盛り上がりつつある様子であつた。

懇親会の中では、昨年に続き奇術研究部の現役生2人に来て頂き、「世紀の大奇術ショー」を開催した。演じる方もベテラン、見る方もベテラン揃いという状況の中、シナジー効果が生



じたためか、今回も役員の間以上に会場が盛り上がり、各テーブルでは歓喜・歓声の嵐がさながら阪神優勝時の六甲おろしの如く無限に発生するほどであった。

懇親会の締めでは、岸本幹事長の閉会の辞の後、恒例の肩を組んでの逍遙歌合唱を行い、各々再会の時を約しつつ各々十三の街へと繰り出して行った。

(支部長 山本章二)
(協和エース・西島義人)
06-6885-7087

「防災についての心得」 島津天王寺消防署長講演

天王寺支部（北原正浩支部長）は、総会を10月3日にホテルアウィーナ大阪で開催した。本部の北嶋副会長、大阪市内支部連合・田中会長、女子秀麗会・松野副会長はじめ市内支部各支部長、区外校友の来賓18人の出席をいただき総勢40人が出席した。

第1部総会は、谷幹事長の司会で学歌斉唱、物故校友への黙祷、北原支部長挨拶と続き、議事では事業報告、収支決算の報告があり、全て承認された。引き続き北嶋副会長、田中市内支部連合会会長、会員の足高市議員から祝辞をいただき、総会は無事終了した。

第2部は、島津天王寺消防署



署長による「防災についての心得」をテーマにした特別講演。小西顧問から講師紹介があり、講演ではメモをとる人、熱心に聞き入る人も多く、これからも自助、公助、共助の防災意識を持つて災害が発生した時に対処するよう、参考になる興味ある内容であった。

第3部懇親会は、山田関西大学園・支部顧問の乾杯の発声で幕をあげた。宴もたけなわに、北原支部長から支部初めての企画として小西顧問の紹介により実現した、奈良東大寺の大仏殿見学で、特別に大仏様（盧舎那仏）ひざ元の回廊に昇殿でき、間近に大仏様に接するご縁を得ることが出来ることを発表し校友・友人・家族の参加を募った。閉会は、迫見支部長から天王寺支部のさらなる発展を祈念する挨拶と、元氣いっぱいの方

歳三唱で宴が終了した。最後に逍遙歌を児島校友のリードで歌いあげた後、北原支部長プレゼントの関大センベイと関大マーク入りボールペンを手に散会した。
(北原正浩)
06-6771-9789

上田先輩がゴルフ&詩吟 第3回定例会を開く

9月17日、ふつふ屋で本年度第3回目の鶴見支部（迫匡支部長）定例会を開いた。

迫支部長（昭40商）から、年度下期の本部、支部行事、並びに他支部との交流などの説明のあと、今夜のマイスピーチは、上田正紀顧問（昭37商、上孝木材商店代表取締役）による趣味「ゴルフ&詩吟」の話だった。

上田先輩のゴルフ歴は長く、校友会コンペはもとより、いろいろな場面で活躍されている。



今夜は一昨年6月に四條畷CCで見事ホールインワンを成し遂げた話だった。

ゴルフは毎回きちつと記録されていて、今回の偉業は1701回目のラウンドで、統計上は2000回ラウンドで、1回はホールインワンは可能であるとのこと、当日は美人キャディのちかちゃんから認定をもらったそうだ。

また、趣味の詩吟師匠（吟号・上田晃峰）もされており、漢詩朗詠を「声帯の手術を2回もし、のどを痛めている」とのことだったが、なかなかの美声に一同うっとり、終わって上田先輩に拍手喝采を送った。

続いて、恒例のお楽しみビンゴゲームになり、唯一の女性、谷口さんが出するぞなぞクイズで、なかなか難しく？ヒントや助け舟でなんとか回答でき、一同素晴らしい景品をゲットして、につこりだった。

(幹事長 南畑吉是)
(支部長 迫匡) 090-5017-8420

合同総会の会計清算報告 ATM支部長と役員参加

♪自然の秀麗人の親和♪。7月11日にATM3支部合同総会をキャッスルホテル・錦城閣で楽しく持ち、その会計清算報告会を8月19日に鶴見区のふつふ



屋で開いた。出席は3支部からA（旭）秋田好廣、T（鶴見）迫匡、M（都島）香西安勝の3支部長と役員たち12人。

早速、香西都島支部長から合同総会の成功感謝の報告と、3支部合同会計の清算報告。秋田旭支部長が全員のご健勝を願う乾杯。おいしいカニ料理のお食事会のスタート。ビール片手にカニとは、なんと贅沢なひと時か。三支部総会も楽しかったけど、今日の報告会は遠慮なしのおいしい食事会になり、「来年も3支部で7月にやりましょう」とすぐに賛成。お腹が落ちていたところで、石川秀人都島副支部長（昭35商）の摩訶不思議な数字のマジックの披露があり、続いて鶴見名物ビンゴ・クイズゲームで大笑い。全員大ハシャギだった。♪長き歴史。

(鶴見幹事長 南畑吉是)
(秋田好廣) 090-8216-7559、迫匡 090-

— 5017—8420、香西
安勝—090—2705—5
420—

若手会でピアパーティ 河内長野支部からも参加

8月21日、「ニューミュンヘン
南大使館」で大阪中央支部（北
野克己支部長）の若手会ピア
ーティが開催された。

当支部では、平成元年以降に
卒業した会員で若手会を構成
し、年に数回イベントが開催さ
れている。今回のピアパーティ
には、支部会員だけでなく、河
内長野支部から栗木久美支部
長、加藤安宏副支部長、濱崎純
行幹事にも参加いただき、総勢
15人が出席した。

来賓の河内長野支部の方々か
らの挨拶の後、北野支部長の乾
杯の発声で始まった。

ビールと食事をしみながら、
両支部における若手会員の活動



の様子や今後の若手会員勧誘に
ついて話し合い、支部間での交
流を深めた。

恒例となっているくじ引きで
は、当選者に賞品が贈られ、大
いに盛り上がった。

石川雅一幹事長からの挨拶で
締められ、閉会した。

（広報部副部長 藤原達史）
（北野商店—06—6253—0
861—）

篠山でBBQと栗拾い 第15回ハイキング同好会

住之江支部（三科仁孝支部
長）では、第15回ハイキング同
好会の催しとして9月17日に、
篠山の清水会員保有の栗林の前
で、バーベキューと栗拾いの集
いを開催した。参加者は6人。

あいにく午前中は雨だったが、
地元篠山牛の牛肉に地元野菜で
のバーベキューには一同舌鼓だ
った。

午後には雨も上がり、みんな



で栗拾い。一人で持つのがやつ
との大きな籠に2杯ほど拾い、
いい腹ごなしとなり、拾った栗
の一部をお土産に、楽しい一日
を過ごした。

お世話頂いた清水会員に感
謝 （幹事長 塩田憲治）
（塩田司法書士事務所—06—6
943—7267—）

集合写真をカレンダーに 支部総会出席者に配布

城東支部（後藤憲之支部長）
では、6月20日に開催した支部
総会を記念して、出席者全員の
集合写真をメインに本年9月か
ら来年8月まで1年間のカレン
ダーを作成し出席者に配布し
た。

このカレンダーを各家庭に貼
り、活用いただくことで校友会、
関西大学への想いを強めていた
だくことを期待するとともに、
支部活動への更なる参画、広が
りを期待している。（近藤正昭）
（近藤正昭—06—6935—5



545—

節目の第10回総会開く 新支部長に九之池榮一氏

活動を再開して節目の10回目
を迎える27年度の阿倍野支部
（松田充弘支部長）総会が、9
月5日に和風建築の趣を伝える
『はりま屋』で開催された。校
友会本部からは渡邊副会長をは
じめ、市内近隣支部からも各支
部長ら代表者の出席を賜り、支
部会員も含めて24人が集まった。

第1部総会は、松峯幹事長の
司会で開式。学歌斉唱に続き、
松田支部長の挨拶、続く議案審
議では各議案が滞りなく満場一
致で承認された。また、役員改
選では、松田支部長が今期の総
会をもって退任、新しい支部長
には九之池榮一氏（50学経）が
就任することになり、九之池新
支部長の挨拶で無事終了した。



松田支部長、長きにわたり有
難うございました。

第2部は、原田豊山さんによ
る尺八の演奏を楽しんだ。原田
さんは22年の銀行員生活を経て
尺八演奏家としてプロ転向され
た異色の経歴の方で、尺八の古
典からジャズ・ポップスまで幅
広く演奏され、独自のエンター
テイメント空間を全員で堪能し
た。

第3部懇親会は、田中副幹事
長の司会でスタート。来賓の渡
邊校友会副会長、市内支部連
合副会長の伊藤様から挨拶を頂
き、成岡校友会事務局課長の乾
杯の発声で、和やかに宴が始ま
った。途中に当支部会員の紹介
をし、初出席の若手会員にも挨
拶をしてもらい、最後に東住吉
支部の高副支部長のリードで逍
遙歌を熱唱、閉会の辞にて散会
となった。（幹事長 松峯哲也）
（大長ハウス・松峯哲也—06—
6628—0171—）

反社会勢力と防犯につき 折元理事長の講演を聞く

経済人クラブ（栗原照次郎会
長）第207回例会は、9月14
日に大阪梅田・大阪新阪急ホテ
ルで開催され、来賓に池内啓三
理事長、寺内俊太郎校友会長、
森本靖一郎クラブ名誉顧問を迎
え総勢61人が出席した。

学歌斉唱の後、最近他界され



た一軸浩幸元校友会長、岡田誠一クラブ幹事のご冥福を祈り、一同心からなる黙祷を捧げた。
今回の講師には、一般社団法人全国防犯啓蒙推進機構・折元弘巳理事長をお招きし、「企業がとるべき反社会勢力と防犯について」と題して講演をいただいた。

主たる内容は、反社会的勢力とは、反社会的勢力の行為要件と本質、敵（相手）の方法論を知る、基本的対応要領など6項目について具体的事例を含めて詳しく説明いただき、最後に、最近の子ども達に対する凶悪犯罪者（推定1万人位いる）の行動と心理状況および家庭の防犯について、その対応について事例を挙げ、細かく説明いただいた。不確実な社会情勢の中で大変意義深い講演だった。

2部の懇親会では、来賓を代表して池内理事長から本年度の司法試験の合格状況や、来年11月の130周年に向かつての具

体的活動内容についての報告があり、当クラブへの益々の協力依頼があった。

寺内校友会長の乾杯の音頭で会和やかに進み、卒業年代別にわけられた円形テーブルでは、趣のある懇親の和が熱気で満ちあふれていた。途中、新入会員および特別参加の紹介と各人の自己紹介があり、会はさらに盛り上がりを見せた。

（前代表幹事 田合邦臣）
（校友会事務局 〇6-6368-10041）

ネット販売の戦術と戦略 （株）プラタ谷原社長が講演

年輪開大会（朝倉満会長）第13回例会は、8月26日に大阪の夜景が映える梅田「グラント白楽天」で21人が出席して開催された。

恒例の会員企業の紹介を兼ねた勉強会は、ネット通販を展開している（株）プラタ・谷原敦社長を講師に実施した。

（株）プラタは、総売り上げの80%以上がインターネットを通じた販売で、ネット販売で売れる商品づくりを進めている。価格で一番安くならないと売れないという「業界最安値」をコンセプトにした経営で、安定した収益とビジネスパフォーマンスで顧客が潜在的に持っている価値の創造、開発を進めている。

企業紹介の前に、インターネット技術の進化およびネット販売での悪い事例について、具体的な解説によってネット販売のビジネスモデルの構築、運用についての知識、現状を出席者全員で理解を深めた。

提供している全商品の95%は自社で製造、輸入している商品で、販売価格も大手量販店を経由してないので自由な価格設定が可能だ。楽天、YAHOO、DENA、AMAZON、Q10など現在17の販売サイトを運営して企業間取引（B to B）および企業と一般消費者間取引（B to C）を実施している。商品点数は、各サイトで常時8千〜1万点程度の商品を取り扱っている。

講演後、ものづくりから販売まで「モノ」をインターネットでつなぎ、様々なデータを分析することで、サービスや製品を生み出しているしなやかな戦略と戦略に活発な質問があり、その後の懇親会でも話題となり、例会の予定時間は大幅に超過した。

最後に、「年輪開大会ニューズレター」第2号、および大学からの諸情報などを紹介して閉会となった。

（校友会連携プロデューサー 田中久仁雄）
（アサクラ・朝倉満 〇6-6354-8900）

ご良縁 成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話®

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

- | | | |
|--|--|---|
| 1 成婚率の高さ
無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。 | 2 質の高い会員層
国公立・有名私立大学が中心。 | 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。 |
| 4 自社会員のための構成
成婚率の高さの維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。 | 5 格式あるお見合いパーティー
帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。 | 6 安心の均一料金システム
どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。 |

お問い合わせセンター
営業時間 10:00~18:30
定休日 水曜日

よく ふうふ よろしく
0120-4122-46

資料請求 無料
●ドクターズコース
●スタンダードコース
●シニアコース 有

株式会社 **エムロード** Marriage Road
携帯・WEBからも エムロード 結婚

大阪 NU茶屋町プラス最上階(3101) 神戸 神戸国際会館19F 京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

大谷会長が退任、後任に高一弘氏 受け継がれていく「二部精神」

10月10日に大阪新阪急ホテルで応援団OB長柄会（部）（大谷啓二会長）第72回総会が開催された。

本年の総会は、会員にとって特別な総会となった。長く会長を務められた大谷先輩が勇退され、新たに高一弘先輩が新会長に就任されたためである。

高会長は、挨拶の中で「社会の流れで二部の需要がまた高まり、関西大学に二部が復活した時のために長柄会は在り続ける」と力強い発言があり、会員一同、諸先輩が築きあげた「長柄会」をいつまでも存続させなけ

ればならないと強く感じた。

総会終了後の懇親会では、高新会長をはじめとする新生長柄会会員に対し、池内啓三理事長をはじめとする来賓の皆様から多くの激励の言葉を頂戴した。その中でも印象的であったのが二部応援団の精神を受け継ぐ形で活動しているチャリデーイングサークル「CLAIRS」の顧問をお願いしている山本英一先生の言葉である。

「クレアーズには外国語学部在籍している者も所属している。外国語学部は海外留学をカリキュラムに取り入れているため、部活動等との掛け持ちが非常に難しい。その中でも、クレアーズの活動を続けているのは、まさに勉強と部活動の両立で、それは二部時代の仕事と勉学の両立に通ずるものである」

この言葉を聞いて、長柄会一同、二部の精神は随所で脈々と受け継がれており、これは一生続くものであると確信した。

毎年恒例となったOBバンド演奏、OBリーダー演奏、CLAIRS演奏、富くじ抽選会で会場は大いに



盛り上がり、最後は参加者一同の道徳歌とともに長柄会総会は幕を閉じた。

（第64代幹事 横内俊裕）
（中村博）06-6705-5678

第四回「合宿と称して」 押忍は応援団精神の真髄

応援団OB長柄会は、9月5日と6日、琵琶湖畔和邇浜「日出美荘」で「OB合宿と称して」を開催した。昨年、嵐を連れて来た君が昼から来るこのことで天気が心配だったが、初日は晴れ。

団旗が3年振りに琵琶湖の爽やかな風に靡いてくれて一同安堵、君も面目を保つことが出来た。K君とM君が団旗を持ってみて、持っただけで精一杯。然し団旗を見ると若かりし頃を思い出して血が騒ぎ、年齢を忘れるのであろう。団旗の力、恐

るべし。

夕刻BBQ開始。M君が投網で確保した鮎などの天婦羅を皆で舌鼓を打っていると、肉が焼けたとの声。しかし若い者が少ない悲しさ、なかなか肉が減らない。来年は肉の量を減らして野菜を増やそうかと感じた次第。

花火大会の後は二次会。今年は「押忍」論議だった。何故「押忍」に「押」の字が使われているのかという話になったが納得のいく説明が出ない。

そのうちに「検索、検索」と言ってスマホで意味を調べ始めて、一応の結論が出た。「押」の右側は「甲」だが、昔は「田」で、しかも田んぼの「田」では無く亀の甲羅を表し、全てを覆い隠す、押さえ込むの意味。さらに「忍」は、心に刃が刺さっても痛みを感じず動じない様。そして両者を合わせた「押忍」は、何事が起こっても全てを自分の心の中に押さえ込み、毅然として動じない様、の意味であった。

これこそ応援団精神の真髄ではないか。さらには人生訓でもある。貴重な言葉を残して下さった先人方にありがたや、ありがたやのうちに就



寝。

翌日は雨。リーダー部OBは雨で練習中止だが、二日目のみ参加のOBバンドメンバー到着で合奏練習。昼は昨夜の残り度再度BBQと小豆島そうめん、腹ごしらえをして散会となった。

来年も9月第1土曜・日曜での開催を予定しているので、若い代のOBが積極的に参加してくれることを期待する。

（第25代副会長 出口健一）

引き続き畑下顧問が卓話
次回は来年2月の新年会
清交社関大会（加藤拓会長）
では、秋のつどいを10月7日にANAクラウンプラザホテル大阪の中国料理花梨で、10人が参



加して開催した。

冒頭、加藤会長から挨拶をいただき、続いて校友会畑下辰典顧問（元会長）から、前回に引き続き『知られざる関大史パート』と題して卓話をしていた。

大林功会員の乾杯の音頭で懇親会がスタート。中国料理に舌鼓をうち、アルコールが入り、創立130周年記念事業、近頃の母校の動向等を皆が熱く語り、おおいに盛り上がった。

最後に、小寺一矢会員から締めめの挨拶をいただき、次回は来年の2月に新年会を開催することによって閉幕した。

（幹事 山本一人）
（社団法人清交社 06-6341-8001）

田中俊也ゼミ大同窓会 縦横の学びのリエゾン

1993年卒から2014年卒までの20年以上にわたる歴代のゼミ生が、文学部心理学専修・田中俊也先生のご著書出版記念及び大同窓会のために9月12日、リッツ・カールトンホテル大阪に足を運んだ。

万遍なくすべての代から集まった総勢65人は、同期との再会という横のつながりだけではなく、縦のつながりとして先輩後輩との出会いも楽しんだ。

各自に配布された名札は、田



中先生のご提案でなんと大学生時代の写真入り！こわこわと昔

通常のフルメンバー9人 今年最後のコンペ開催

北海道支部（松本陽一支部長）では新入会員の増員をあの手この手で図っているが、なかなか増員には至らない。当支部のパークゴルフ部会も同様で悪戦苦闘状態。そんな中、10月18日に紅葉真っ盛りの快晴の中で、ロンスケープ輪厚において今年最後のコンペが開催された。残念ながら新会員はいなか



なつかしい？自分の写真を見る皆の顔は、大学生のときよりも強さと柔らかさを兼ね備えていた。

おいしい料理とともに歓談を楽しみ、また「田中先生に関する〇×クイズ大会」でも盛り上がった。壇上からの田中先生のお話を熱心に聞く皆の姿は大学時代に戻ったかのよう。

田中先生のご厚意で配られたご著書を胸にそれぞれの人生に戻ったが、今回の会をきつかけに縦と横のつながりがより強くなったことを感じた時間だった。

（幹事長 北野朋子）
（北野朋子 = tmk_ktn@yahoo.co.jp）

ったものの、通常出場のフルメンバー9人のコンペになった。

優勝は支部幹事長の下地章二氏（41学商）、準優勝は菅原光生氏（41学経）だった。来年も新しい会員の獲得を目指すことを誓い会場を後にした。

（パークゴルフ部会長 大坊健二）
（松本陽一 011-778-6760）

岡山支部が悲願の初優勝 中・四国地区親睦G大会

本部から優勝カップ（校友会長杯）の寄贈をいただいている中国・四国地区支部対抗親睦ゴルフ大会（山口千里会、広島支部、備後支部、香川支部、岡山支部の対抗戦）も今年で第6回を迎えた。

今回は岡山支部（行本章允支部長）が幹事支部で、10月3日



に岡山金陵カントリークラブで寺内俊太郎校友会長をお迎えし、総勢38人の参加で開催された。また、今回は歓迎の意も込めて前日に「前夜祭」と称し、ゴルフ場に近しい「レスパール藤ヶ鳴」において宴会をセッティングし、寺内会長を始め14人の校友に料理と温泉でくつろいで頂いた。

本大会の過去の優勝は、広島支部4回、香川支部1回で、地元開催の今年は岡山支部が何があっても、という意気込みで21人という圧倒的多数で臨んだ。当日は秋晴れの絶好のゴルフ日和となり、はたして、ネットスコア上位4人の合計で競う団体戦は、ついに「岡山支部が悲願の初優勝」を果たす事ができた。歓喜の中で他支部の「まっ、しやーないか」という笑いの中、記念撮影を行い散会となった。

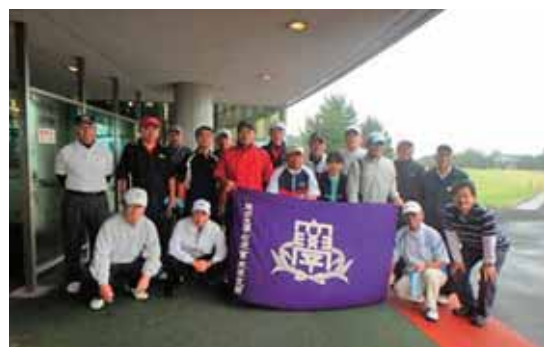
来年は備後支部開催となる。来年もよろしく願います。

（岡山支部ゴルフ幹事 寺尾通宏）
（ケイティープランニング 086-245-6980）

団体戦優勝は神奈川B 雨中での厳しい戦い制す

9月25日、首都圏4支部（千葉・神奈川・埼玉・東京）対抗第4回ゴルフコンペを若洲ゴルフリンクスで開催した。

当日は、雨中での厳しい開催



となり、降りしきる雨と風と闘いながら5組19人による熱き戦いが行われた。

競技は、新ペリア方式による各支部上位3人のトータルネットスコアの合計で順位を決定する団体戦とした。エントリーチームは神奈川A(3人)、神奈川B(3人)、千葉(5人)、埼玉(3人)、東京(5人)の5チーム。

団体戦の結果は、優勝は神奈川Bチーム、準優勝は東京チームとなり、その差わずか1・2の僅少さであった。3位は前回・前々回優勝の埼玉チーム、4位神奈川Aチーム、5位千葉チームであった。

個人戦の優勝は清水孝弘氏(東京・54歳)、準優勝は鈴木慶章氏(神奈川・47歳)、ベスグロは優勝の清水孝弘氏が79

(41・38)の素晴らしいスコアで獲得した。

女性でただ一人参加の太平聡子女士(千葉・62歳)には花を添えていただいた。

また、埼玉支部の信本氏から、首都圏大学対抗の「バーサス会」の紹介もいただき、各支部での参加をお願いした。

今回で各支部による開催が一巡し、来年は神奈川支部による開催となる。今後も支部対抗、ゴルフコンペを継続していくことを決意し、散会となった。

(東京支部 西村真一・56歳)
(パソナグループ常勤監査役・堺精一・03-6734-0218)

関関立の7組27人参加 第22回コンペ大成功！

岐阜千里会(松村公夫会長)は、9月26日に岐阜関カントリー西コースで、第22回の関関同立交流岐阜千里会コンペを開催した。

今回は残念ながら同志社大学は欠席となったが、関西学院大学同窓会岐阜支部4人・立命館大学岐阜県校友会3人と、愛知支部から1人の参加を得て、総勢7組27人の大会となった。

個人戦の順位が争われる中、今回は関学大の優勝であったが、今回は関大の後藤進氏(44歳)が、OUT44IN46、GR



OSS90(HD16・8)NET73・2の好成績で見事優勝し、雪辱を晴らした。準優勝は小林四郎(38歳)、3位阪口哲夫(43歳)、4位木村定昭(42歳)の各氏で、上位を関大が占めた。

また、栄えあるベスグロ賞には、今回、唯一女性参加の関大の小島直子さん(57歳)が、OUT36IN40・GROSS76の素晴らしい成績で輝いた。

大会は好プレー・珍プレーの続出で和気あいあいと行われ、優勝・準優勝には地元産の「松茸」が提供されるなど、味覚の秋満載の賞品で大いに盛り上がった。本大会は、同じ関西の私学で学び、地元岐阜県下で活躍する者同士の交流の場ともなっており、今回で2回目となる関関同

立の友好の輪は、確実に広がっている。

岐阜千里会のゴルフ同好会(小林四郎会長)は、会員44人で年2回のゴルフコンペを開催しており、今回は来年3月26日(土)の開催が予定されている。ぜひ多くの校友に参加してもらいたい。

(幹事 前畑忠憲・昭55歳)
(松村工業・疋田・058-271-3912)

強い関大、強い松原 団体戦3連覇を飾る

10月21日、秋晴れの中、松原支部主催で柏原、富田林、平野、羽曳野、東大阪、生駒の7支部の総勢35人が参加し、第62



回河内地区ゴルフコンペが太子カントリークラブで開催された。日頃の練習の成果を試す時とばかりに、ワンオン狙いのミドルコースでチャレンジする者、手堅くいく者と、みな和気藹々のうちに終了となった。

団体戦は、松原支部が3連覇。個人戦は、優勝石田伸行(松原)、2位井上信良(生駒)、3位泰松正彦(松原)の各氏であった。

なお、次回第63回大会は生駒支部主催で4月7日(木)、吉野カントリークラブで開催予定。

(松原支部 西口昌宏)

本年は関大が団体優勝 秋晴の親睦ゴルフコンペ

10月9日、秋晴れの泉ヶ丘カ



ントリークラブで、関学9人、関大17人の参加で第27回堺・関親睦ゴルフコンペが開催された。

過去5年の戦績は、関大2勝3敗と直近3連敗していたが、本年は関大が優勝し、3勝3敗と5分けに挽回した。

成績の発表、表彰パーティと和やかな時間の後、両校の校歌斉唱、エールの交換で終了した。成績は、団体優勝 関大（辻本修一、豊嶋賢二、隅谷哲三、北井宏昌）ネット合計293・8、関学ネット合計298・4。個人優勝 辻本修一（関大）、準優勝 仲子政幸（関学）、ベストグロス賞 中村稔（関学）（高松健之）（鍋島均＝072-221-5269）

片井副支部長が見事優勝 新入会員2人も参加

富田林支部（杉本孝支部長）では、10月7日、聖丘カントリー倶楽部で14人が参加して第11回親睦ゴルフ大会を開催した。

今回も天候に恵まれ、穏やかな陽ざしの下で支部長杯をめざし、互いに日頃から鍛えた技量を発揮、熱戦を繰り広げた。

成績結果は、副支部長の片井崇氏（41文）が見事、2度目の優勝。「今日は出来すぎ、何かとついていた。それにパートナー

に恵まれて楽しいゴルフができ、そのうえ優勝とはいへん嬉しい」と笑顔で優勝杯を手にした。

準優勝は、最近、少しずつ力をつけてきている日谷敏彦氏（52商）。3位は当倶楽部メンバーの松井一夫氏（52工）だった。ベストグロは沖利男氏（49商）で83。

今回は、急遽4人のキャンセルもあったが、新しい会員2人も参加され、和やかで楽しいコンペだった。次回は、来年4月に吉野カントリーで開催予定。

ゴルフ部メンバーは3人増え現在32人。さらに新入会員を募集。（副支部長 簡井孝一）（秦純一＝072-193-3085）



参加者全員に恒例の松茸 第8回親睦ゴルフコンペ

9月2日、大阪市内支部連合会（田中義信会長）の第8回親睦ゴルフコンペが、ゴルフクラブ四條畷で、14支部60人の参加で開催された。

池内啓三理事長も参加頂き、関西大学の創立130周年記念事業の取り組みと実情について語っていただいた。田中会長は「連合会は益々の結束を固めると共に、関西大学フェスティバルin九州を応援しよう」と呼びかけられた。

当日は、前日までの雨があがり、さわやかなゴルフ日和で校友の親交を深めることができ、



楽しいひと時であった。

懇親会では、寺内俊太郎校友会長もかけつけて、「校友の総力を結集して母校創立130周年記念事業を成功させよう」と熱く語られた。

成績は、団体優勝は昨年に続き城東支部、準優勝は北支部。個人戦は、優勝久家俊彰氏（城東）、準優勝梶本雅憲氏（北）であった。

各入賞者には、豪華な賞品が贈呈され、参加者全員には、恒例の松茸が参加賞として渡され、大変喜んで頂いた。

（高木忠雄）
（田中義信法律事務所＝06-6316-0348）

愛宕原で116人が熱戦 個人優勝は大杉昇三氏

体育OB・OG会（女川隆会長）の27年度親睦ゴルフ会が、10月7日に愛宕原ゴルフ倶楽部で行われ、校友会から寺内会長にご参加いただき116人が熱戦をくりひろげた。

今年も、昨年同様雲ひとつない快晴で絶好のゴルフ日和となり、参加者全員が楽しくラウンドした。

表彰式では、寺内会長から体育OB・OG会に対して力強い激励の挨拶があり全員が結束して現役に対してバックアップして行くことを一にした。



成績は、個人優勝は大杉昇三氏（バドミントン）、2位植田洋一氏（ソフトテニス）、3位藤井英一氏（千成会）。団体は、優勝剣道部、2位千成会、3位サッカー部であった。

特別賞として、シニア賞昭和28年卒小坂道一氏（ボクシング）、ヤング賞平成13年卒金本章氏（スポーツマンクラブ）、レディス賞を米谷正子氏（自動車部）が授与された。

最後に、応援団OB千成会（部）の中川経夫氏の指揮で逍遙歌を大きな声で合唱し、体育OB・OG会の結束を誓った。

（西田幸弘＝06-6672-2596）
（近藤康雄）



**秋季コンペに24人が参加
次回春季は4月中旬予定**
第71回関大チエリークラブ
(島津禮次会長)の秋季ゴルフ
コンペが、10月8日に池田カ
ントリー倶楽部で24人が参加して
開催された。
前回70回ジャパンメモリアル
で開催された春季大会では、途
中から大雨となり皆さん苦労の
一日だったが、今回は晴天に恵
まれ絶好のゴルフ日和となり和
気藹々の一日を楽しむことがで
き、天候だけはリベンジするこ
とができた。ホールアウト後、
懇親会と表彰式が行われた。
戦績は、優勝片山和彦(48

院)、準優勝山本雅巳(52法)、
3位山本尚武(39商)、ベスト
クロスは加山草一(35法)の各
氏。
次回春季ゴルフコンペは、4

月中旬開催予定。
(ゴルフ部会幹事 加山草一)
(宮腰健次「06-6453-0
519」)

校友トピックス

来年の卓上曆を2種類
写真作家の内藤氏発表



日本の山野草や野鳥、風景を
撮り続け、詩情豊かな卓上カレ
ンダーとして発表している写真
作家の内藤稜児さん(昭29学
法)が、2016(平成28)年
の作品2種類を発表した。

今回は、「日本の山野草」
12枚組(表紙を含め13枚)と、
日本の各地で見られる野鳥の一
つである鷺の四季を追った「鷺
の舞」12枚組(同14枚)の2種
類。題字はいずれも当麻寺・宗
胤院住職の宮下寛昇氏(昭42学

法)。

「日本の山野草」は今回から
写真のスペースを大きくし体裁
を変えたため、とした。早春の
僅かな期間、日中に日が当たる
と反り返って薄紫の花弁を開く
「カタクリ」(表紙)をはじめ、
周囲の氷雪を溶かしていち早く
地表に顔を出した紫の花の「ザ
ゼンソウ」(2月)、シロバナヒ
ガンバナを背景に紫の花を開く
背の低い野生の「キキョウ」(9
月)ほか、いずれも「山野草に
魅せられて60余年が過ぎた。そ
の間、人間の社会生活も大きく
様変わりした。でも草達の愛ら
しさは少しも変わらない。彼ら
は人の魂を癒やす何かを持って
いる。私には大切な心の友であ
る」という内藤氏の気持ちが伝
わってくる作品である。

「鷺の舞」は、表紙と「水辺
の鷺の姿に命の強さ、哲学者の
如き印象・振舞、自然の詩情と
厳しさに、心ゆたかな快さ覚え
る」の文字を入れた1枚を加え
計14枚組。「少し田舎の水田や
河川に行けば、まだ見られる身
近できれいな野鳥ですが、遠く

から望遠での撮影になりますの
で、一瞬の動きを捉えるのに苦
劳しました。また、カレンダー
ですので1枚1枚に季節感を取
り込むことも撮影のポイントで
した」とのこと。

春先の川面を今まさに飛び立
とうとする姿を捉えた3月、陽
光溢れる樹上で身づくろいする
姿を撮った7月、暮れゆく水面
で小魚を狙う10月など、なるほ
どと思わされる。

2種類とも裏面には、六曜や

祝日も入れたその月の実用カレ
ンダーを印刷。予定や簡単なメ
モも記入できるようになってい
る。

ケースの下部には社名やロゴ、
住所等を印刷できるスペースが
あり、得意先への贈答に是非使
っていただきたいとのこと。

問い合わせ、花の情報提供等
は、光稜テクノアート主宰の内
藤さんまで(090-1074
-5435、FAX 06-42
55-9112)。

新刊



紹介

作・おさきまこと(昭49学文)
絵本『にゃんこの魂』



定価1200円+税
竹林館 刊

「子どもの心を持った大人
と、大人の頭脳(おつむ)を持
った子どものための、愛とベ
ソスに充ちたものがたり詩集。

これは本書に寄せてくださつ
た新川和江さんの帯文です。こ
の帯文のとおり、この書は絵本
なのですが、いつびきの「にゃ
んこ」という名前の猫の魂を描
いた「ものがたり詩」として読
めます。少々おませな「にゃん
こ」とママは大の仲よし。けれ
ど、大好きなママに赤ちゃんが
生まれて、ついには、ママの
「にゃんこしっし」という言葉に
傷ついて、にゃんこは家を出て
いくことに。でもやっぱりママ
が大好き。そんなにゃんこの気
持ちが切なく哀しく胸を打ちま
す。にゃんこは、住み慣れた家

を去る時「ぼくは、ママのほんとうの子どもではなかったけど、ママは、ぼくのほんとうのママにちがいない。ぼくはもうながあつても生きていけると思ふんだ」とお月さまに語ります。この最後のことばの何と感動的なことか。

鎌倉麻衣さんの絵が感性豊かに絵本を彩っています。にやんこは家を出ていきますが、決して悲しいだけではありません。自立すること、大人になっていくことの凛々しく気高い気持ちがあることにあります。子どもさんだけでなく、昔、子どもだったパパやママにもぜひ読んでいただきたい一冊。きつとたくさんの勇気を与えてくれることでしょう。

左子真由美（詩人・出版社竹林館代表取締役・大阪出版協会理事）
尾崎まこととは、詩人・写真家としてのペンネームで、本名は米田誠一。昭和49年文学部教育学科を卒業。本書は4冊目の

校友短信

トセ社長に渡辺康人氏が就任 12月1日付。渡辺康人氏（わたなべ・やすひと）昭61（学上）は、平成8年同社入社。19年執行役員経営管

著書で、これまでに詩集『カメラ・オブスキュラ』、童話集『千年夢見る木』、詩集『断崖、あるいは岬、そして地層』がある。

上田 明（昭39学商）著

『歌人日誌 その六』

文芸社 刊

定価1000円＋税



一万首の短歌を詠め、と言われたら出来るでしょうか。

本書は、それを成し遂げ、なおも淡々と作歌を続ける真の歌人の作品集です。一日4首の詠歌を自らに課すことでその目は研ぎ澄まされ、身の回りのすべてが精練されて、短歌として帳

理本部長兼経営企画部長、20年取締役（コーポレート部門統括）、24年取締役（同部門統括）兼常務執行役員、26年取締役（同部門統括兼S I事業部門担当）兼常務執行役員、27年9月取締役兼COO。52歳。

面に焼き付けられていきます。そして季節が一周すると、『歌人日誌』として書籍に生まれ変わるのです。

人の心の荒廃を思わされる暗い事件も多く、成熟したはずの人間社会のやるせなさを感じるような一年だったためか、今回の「その六」では人心や社会に厳しい視線を向けた作品がやや多くなっています。ニュースの

ように端的に的確に核心を突いた表現で問題を抉りつつ、時には嘆き、時には両断する目と心の豊かさに共感し、溜飲が下がります。

もちろん自然や人々に向ける細やかで愛情深い眼差しも健在で、季節とともに生きる日本人の侘びさび、心の豊かさを惜しげもなく詠み込んだ多彩な作品が、この最新刊でまたも多数楽

お悔み申し上げます

山本末男氏（やまと・すえお）昭18（専2商）2月18日死去。93歳。明石市。

平山 實氏（ひらやま・みのる）昭37（学法・41M法、三益建設代表取締役。高槻島本支部副支部長。校友会代議員）5月3日死去。76歳。高槻市。

岩本 清氏（いわもと・きよし）昭27（学文・30学経）8月13日死去。85歳。泉南市。

川手洋三氏（かわて・ようぞう）昭35（学法、元豊中市役所勤務。元豊中市役所関大クラブ会長。豊中支部元副支部長・現顧問。前校友会代議員）8月13日死去。77歳。豊中市。

水谷清吉氏（みづたに・せいきち）昭17（大予2・21大法、文芸堂名誉会長・元代表取締役社長。元岐阜支部支部長、元校友

会代議員）8月28日死去。93歳。岐阜市。

廣田君美氏（ひろた・きみよし）名誉教授・元社会学部教授、専門は社会心理学）9月7日死去。91歳。京都市。

犬童逸士氏（いぬどう・いつし）昭37（学2文、タイガー珈琲代表取締役。元校友会代議員）9月9日死去。77歳。東大阪市。

山口清二氏（やまぐち・せいじ）昭23（専1経・25学法、元毎日新聞記者。元大学職員。元京都家裁家事調停委員）9月13日死去。87歳。町田市。

戸部智夫氏（とべ・としお）昭11（大予1・14大商、元戸部代表取締役。校友会代議員）9月15日死去。98歳。芦屋市。

米田禎男氏（よねだ・よしお）昭27（学経、東町興産（有）代表取締役）9月17日死去。86歳。

しめるのです。

短歌を詠むこと、良き短歌作品を読むこと、ともに芸術活動といえるでしょう。一万首を詠むことはできずとも、一万首を読むことはできそうです。年に一度、『歌人日誌』を読むことで、芸術に触れて心を濯ぎ、肥やしを撒く……そんな暮らしをぜひお薦めしたいと思います。

佐々木亜紀子（文芸社編集部）

神戸市。

大段英二氏（おおだん・えいじ）昭42（学文、明和広告社代表取締役。元広島支部副支部長、元校友会代議員）9月20日死去。70歳。広島市。

舛田幸雄氏（ますだ・ゆきお）昭30（学2法）9月26日死去。83歳。大阪市。

鷺見康夫氏（すみ・やすお）昭22（専2経、洋画家・現代美術家。元工学部非常勤講師）10月12日死去。90歳。伊丹市。

昭和30年、関西発の前衛芸術家集団「具体美術協会」に参加。そろばんや下駄を絵筆代わりに使った大胆な抽象画で知られた。

中村隆夫氏（なかむら・たかお）昭33（学経、（有）ナカムラ代表取締役。元河内長野支部支部長、元校友会代議員）10月16日死去。80歳。河内長野市。

関西大学出版部 刊行図書案内 (価格税別)



響きあう身体
—「気」の自然観・瞑想法・占術—
坂出祥伸 著 3200円
「感応」と「修煉」が「気」の観念の核心だ



『馬経諺解』語彙研究
—17世紀近代朝鮮語の語彙の宝庫—
高明均 著 3000円
近代朝鮮語の漢字対訳語とその語彙の世界



経済発展と交通・通信
関西大学経済史研究会 編 2500円
経済発展における交通・通信の役割の本格的説明



現代アメリカ国債管理政策史
池島正興 著 3500円
社会の高齢化が生む国債の新たな役割を析出



法益保護によって刑法は正当化できるか?
ギュンター・ヤコブス 著
川口浩一・飯島 暢 訳 2000円
ヤコブスによる法益保護論の根本的批判の書



なぜビタミンCは健康にいいのか?
小幡 斉 著 1800円
ビタミンCで風邪、ガン、老化を追放する



続・青春の変貌
岩見和彦 編著 2500円
過去50年間に亘る青春に群像を活写した論集



人の顔または表情の識別について 下
—知覚論的諸問題—
池田 進 著 4500円
人の顔知覚の実験心理学諸理論の比較と展望



17世紀フランス文法家証言集Ⅳ
—動詞—
伊藤誠宏 著 4500円
近代フランス語の形成過程を窺う書



ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」
—国家建設期のキルギス共和国における言語と社会—
小田桐奈美 著 3500円
転換期の社会で言語が果たす役割を探究



泊園書院と大正蘭亭会百周年
藪田 貫・陶 徳民 編著 3500円
大阪の私塾泊園書院と大正蘭亭会100年の軌跡



競争戦略と経営システムの構築
大倉雄次郎 著 3500円
先進的企業の競争戦略を事例で取り上げた書



留学生教育の新潮流
—関西大学留学生別科の実践と研究—
カイト由利子 監修
古川智樹 編著 2500円
留学生教育におけるICTを活用した教育実践



続狂言史の基礎的研究
関屋俊彦 著 8000円
狂言考証学者として知られた著者待望の著作



技術の文化史Ⅱ
—匠の技と美—
下間頼一・緒方正則 編著 3300円
水道橋・鉄・日本刀・印等の技術文化を解明



朝鮮における戦時「国語常用」政策下の「毎日新報」
—「国語」教材および「国語」欄記事の紹介と解題—
熊谷明泰 編著 7200円
植民地下朝鮮の新聞に掲載された「国語(=日本語)」学習教材



現代日本の政治思想的考察
土倉莞爾 著 2800円
政権交代と橋下旋風をめぐる選挙政治論



新課程 博物館学ハンドブック 1
米田文孝・森 隆男・山口卓也 編著 1500円
学芸員資格のための博物館学教科書・副読本
博物館に関する概論、経営論、資料論を説明



新課程 博物館学ハンドブック 2
米田文孝・森 隆男・山口卓也 編著 1500円
学芸員資格のための博物館学教科書・副読本
博物館に関する展示論、資料保存論、情報メディア論、教育論を説明

ホームページ上からでも刊行図書をご注文できます (下記アドレス参照)

ご注文は、お近くの書店または下記まで

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162 <http://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/>

おかげさまで38年
関西大学校友の皆様へ

結婚を応援

幸せなあなたの笑顔が見たくて。

(株)ブライダルは、今まで法人、官公庁、各大学会報誌などで数多くの方々の結婚のお世話をさせていただいております。

少子化問題にも『結婚』で社会に貢献できる企業を目指しており、

平成16年より「関大コース」を設立いたしました。

この関大を見たとおっしゃってくだされば、

校友の皆様はもとより、ご家族の方でも

特別に「結婚」を特典付(登録料50%OFF)にて

お世話させていただきます。



ブライダルコース
¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース
¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



あいスクール・お相手紹介・会員制パーティ・会報誌による
4つの出会いであなたにぴったりのマリッジプランをご用意。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。

詳しくは(株)ブライダル
と検索してください。

(株)ブライダル

検索



38年の実績
株式会社 ブライダル

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
Network/東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

ホームページ

<http://www.bridal-vip.co.jp>

携帯サイト

<http://www.bridal-vip.net/m/>

